

2022/10/15(Sat)▶11/13(Sun)

2025めざして「御堂筋」のシクミをつくる社会実験

【社会実験の実施報告】

- NPO法人御堂筋・長堀21世紀の会（大阪市指定・道路協力団体）
- 一般社団法人ミナミ御堂筋の会（大阪市指定・道路協力団体）
- 大阪市建設局

目次

「御堂筋チャレンジ」の実施経過 … 2

「御堂筋チャレンジ2022」の実施概要 … 5

2期整備区間以南　実施内容／検証結果 … 7

3期整備区間　　実施内容／検証結果 … 24

沿道の適正化に向けた取り組み … 41

御堂筋チャレンジ2022における回遊促進の取組 … 59

「御堂筋チャレンジ」の実施経過

官民連携による社会実験「御堂筋チャレンジ」の実施経過



第１弾：2017

モデル区間整備・御堂筋完成80周年をきっかけに、将来の魅力ある滞在空間を可視化



・モデル区間完成（2016）
・御堂筋80周年記念事業（2017）
・御堂筋将来ビジョン策定（2018）

第２弾：2020

歩行者利便増進道路指定を念頭に区域指定・整備の検証と、道路協力団体による継続利活用の実験



・新型コロナウィルス感染拡大（2020～）
・道路協力団体指定（2020）
・２期区間整備開始（2020）

第３弾：2021

道路協力団体による利活用拡大と、周辺・なんば駅前広場とも連携した歩行者回遊データの検証



・歩行者利便増進道路指定（2021）
・東京オリンピック・パラリンピック開催（2021）
・２期区間整備、完成（2022）

4回目の社会実験「御堂筋チャレンジ2022」のねらい

ねらい①
整備後の管理運営スキーム

＜過去社会実験の取組＞

- 道路空間の適正化に向けた活動（放置自転車対策）と検証
- ベンチ・歩車分離サインの設置・検証
- 植栽の設置や維持管理の試行
- 維持管理のための財源確保の試行



ねらい②
道路空間の利活用形態

＜過去社会実験の取組＞

- 道路協力団体による多様な道路空間の利活用（オープンカフェ、ベンチ、案内板、モビリティハブ　ほか）
- AIカメラなど最新技術の導入
- 利活用プレイヤーの発掘



ねらい③
エリア回遊創出・連携

＜過去社会実験の取組＞

- 面での回遊効果のデータの取得、検証
- 東西通りとの連携（オープンカフェによる回遊、環境改善）
- 地域・商店街との連携、産官学民での回遊性創出研究



2022社会実験のテーマ
2025めざして「御堂筋」のシクミをつくる社会実験

将来のシクミ①
道路管理運営の新たなシクミをつくる
⇒道路協力団体制度活用

将来のシクミ②
多様かつ持続性ある利活用を実現するシクミをつくる
⇒ほこみち制度活用

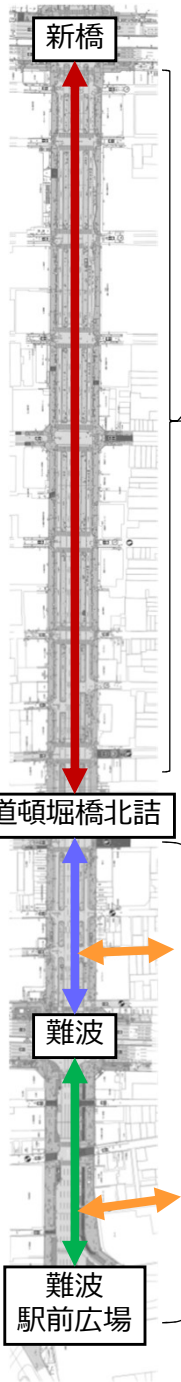
将来のシクミ③
産官学民が一丸となってエリア回遊創出・連携に取り組むシクミをつくる

2025大阪・関西万博

3期区間完成/なんば駅前広場完成/
万博関連事業/ほこみち本格活用など

「御堂筋チャレンジ2022」の実施概要

交通検証等に伴う空間利活用社会実験「御堂筋チャレンジ2022」の実施概要



■**実施時期**：2022年10月15日（土）～11月13日（日）
■**実施場所**：御堂筋・新橋交差点～難波西口交差点の沿道（約1kmの区間）
■**実施主体**：NPO法人御堂筋・長堀21世紀の会／（一社）ミナミ御堂筋の会
（大阪市指定・道路協力団体）／大阪市建設局

【３期整備区間】今後の整備へ影響検証＋道路協力団体による利活用の検証

10月の側道閉鎖に伴う交通環境の影響検証等とあわせて、道路協力団体として将来の利活用の検証を官民連携で行い、今後の整備や利活用のあり方へ反映する。

（御堂筋鰻谷交差点～御堂筋清水町交差点区間【３期北】）
- ほこみちエリアの滞留・にぎわい創出
- 違法駐輪対策
- 夜間等の安全対策

御堂筋・長堀21世紀の会

（御堂筋周防町交差点～道頓堀橋北詰交差点区間【３期南】）
- ほこみちエリアの滞留・にぎわい創出
- 周辺商店街への誘導・情報案内
- 違法駐輪対策

ミナミ御堂筋の会

にぎわい創出



違法駐輪対策



にぎわい創出



情報案内



【２期整備区間以南】
2021踏まえたベンチ等の検証と、御堂筋等と連動した回遊性創出等への検証

（2期整備区間以南）
2021の社会実験の成果を踏まえ、道路空間再編工事完成とともにベンチ等の検証を行い、継続した管理運営方策へとつなげる。
- 滞在空間の創出（ベンチ等の設置）
- 東西商店街への誘導（サイン等の設置）

ミナミ御堂筋の会

滞在空間



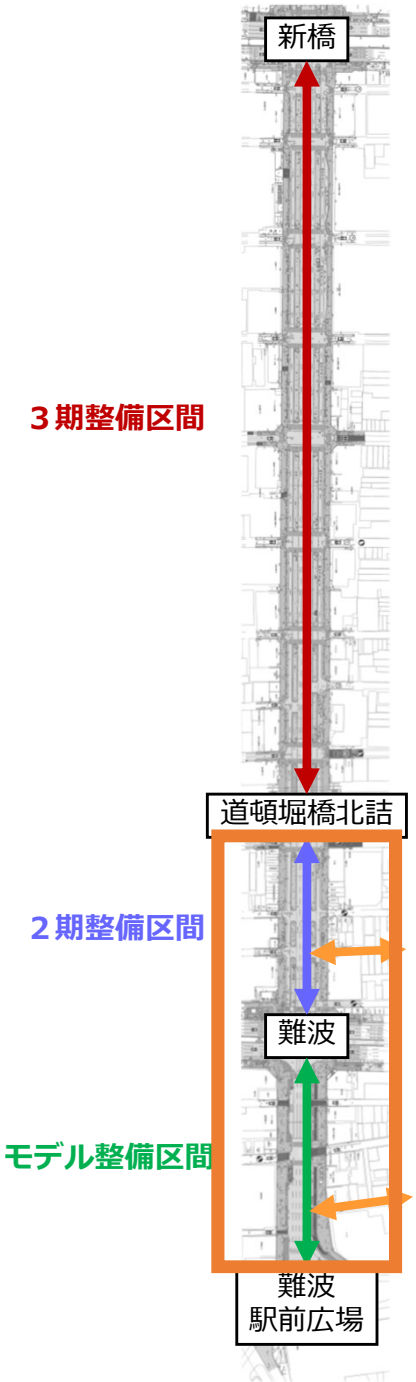
（東西通りとの連携）
過去の社会実験の成果を踏まえ、御堂筋・広場とも連携した東西方向への回遊の創出や放置自転車対策などを地域と連携して実施し、その効果をデータ取得等を通じて整備後の効果を検証する。
- 南地中筋商店街実施のイベント等との連携
- カフェストリートでのオープンカフェ実施
- 放置自転車対策等、面での適正化の実施

東西オープンカフェ



放置自転車啓発等





２期整備区間以南
実施内容／検証結果

２期整備区間以南の検証：道路管理運営の新たなシクミをつくる

過去の社会実験での検証（2020・2021）

ベンチ・歩車分離サインの設置



設置による事故もなかったが、デザインなどが課題、コロナ禍の影響も

植栽設置や維持管理



植栽の設置・維持管理を官民で連携、継続的な維持管理へ練習

バナー等の設置による財源確保



バナー掲出などの財源確保、維持管理に充当、団体でのルールも決定

２期整備区間完成（2022秋）

2022社会実験の目的：完成後の日常のすがた・管理運営スキームを検証

①ベンチ・サインの最終形をめざした検証

御堂筋にふさわしいベンチ・サインなどのあるべき姿や管理を検証し、最終形に持っていくことをめざす

②植栽の維持管理スキームの検証

植栽帯の整備を踏まえ、官民でどのように維持管理を分担していくか、スキームを検証する

③継続的な財源確保策の検証

バナー掲出など、道路協力団体による継続的な財源確保策を検証し、持続的な維持管理につなげる

ベンチ・サインの最終形をめざした検証

滞在空間創出・歩車分離のベンチを設置し、継続的な設置や維持管理のスキームを検証する

モックアップベンチ（それ以外）
・プロトタイプベンチの簡易版を木工で作成



プロトタイプベンチ（難波交差点北２カ所）
・テラゾー表面＋コンクリート躯体（道路付属物を想定）
・ベンチにオプションパーツを取り付け（道路協力団体占用物件を想定）
大阪府産材を使用

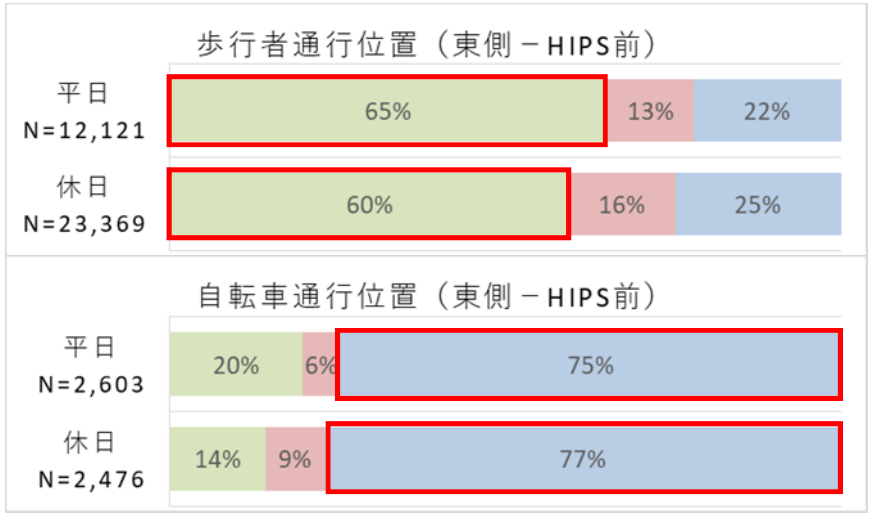




ベンチ・サイン設置による歩車分離・整流効果

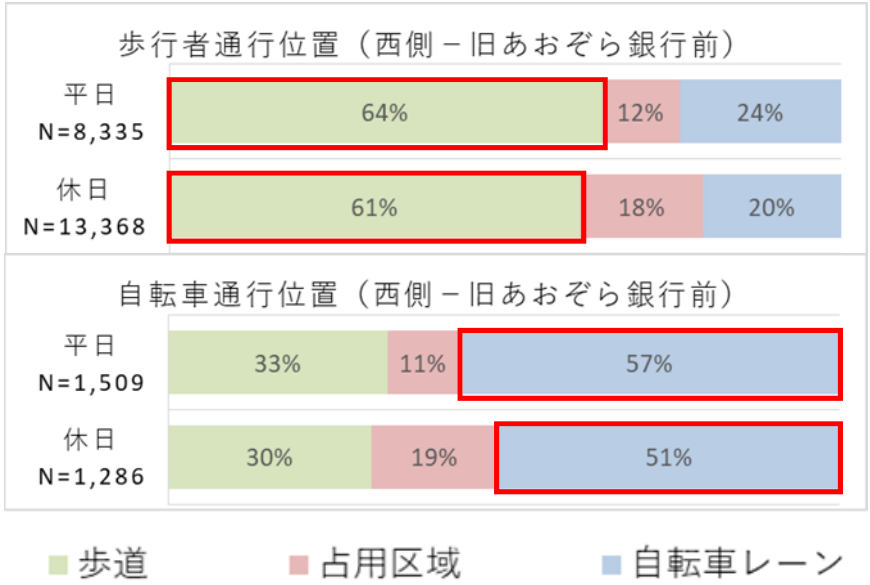
端部にベンチを置くことで、歩車分離、整流効果を確認

➢ 東側－HIPS前（11時～20時の9時間計の歩行者・自転車通行位置）





➢ 西側－旧あおぞら銀行前（11時～20時の9時間計の歩行者・自転車通行位置）





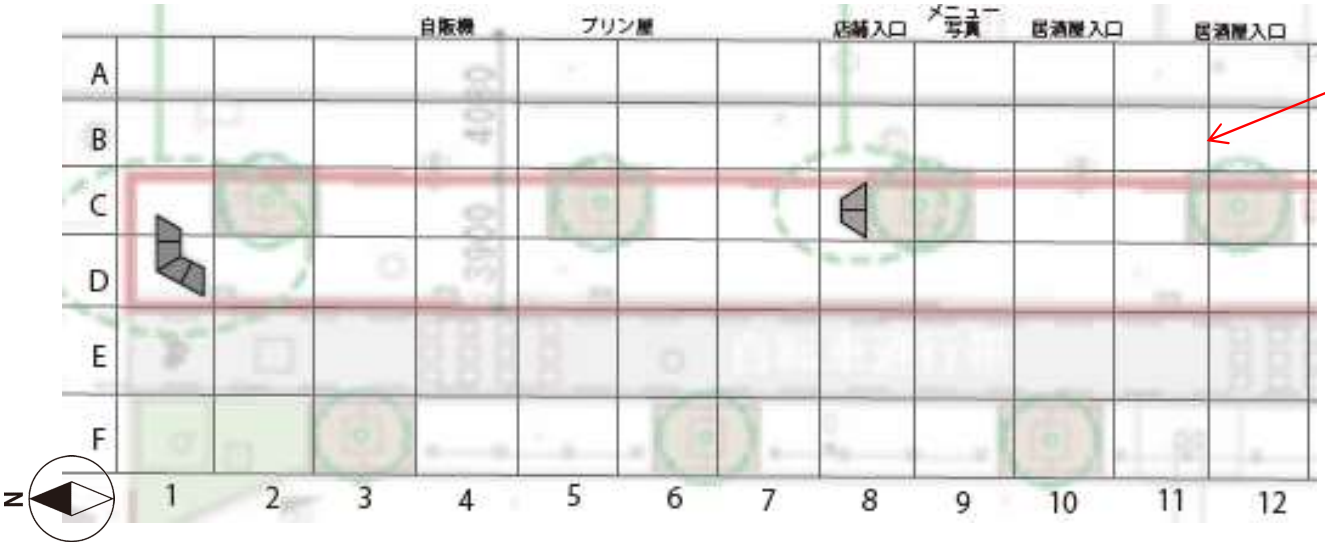
ビデオ調査：平日－10/25(火)、休日－10/29(土)から計測

ベンチ・サイン設置による歩車分離・整流効果

端部にベンチを置くことで、歩車分離、整流効果を確認

➢ 東側－はり重前における歩行者通行軌跡（グリッド単位）の頻度分布

（毎正時から5分間のゲートカウント法による通行量を計測）



グリッドを設定



前 ALL・歩行者	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
A	51	48	46	41	37	33	25	27	24	25	25	24
B	115	117	119	118	120	122	115	121	124	124	127	123
C	37	28	28	29	40	50	58	59	49	39	44	52
D	80	86	86	87	96	95	90	92	92	91	85	80
E	54	45	40	36	34	32	32	31	29	33	35	37
F	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

←実験前の各グリッドを通過する歩行者通行量

中 ALL・歩行者	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
A	83	84	83	81	83	73	76	75	69	60	51	51
B	135	139	138	137	150	143	140	149	156	158	158	153
C	47	49	36	33	25	30	28	15	14	22	35	36
D	10	37	48	61	64	62	63	72	73	73	70	60
E	40	40	30	22	21	23	23	23	20	19	20	18
F	7	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0

←実験後の各グリッドを通過する歩行者通行量

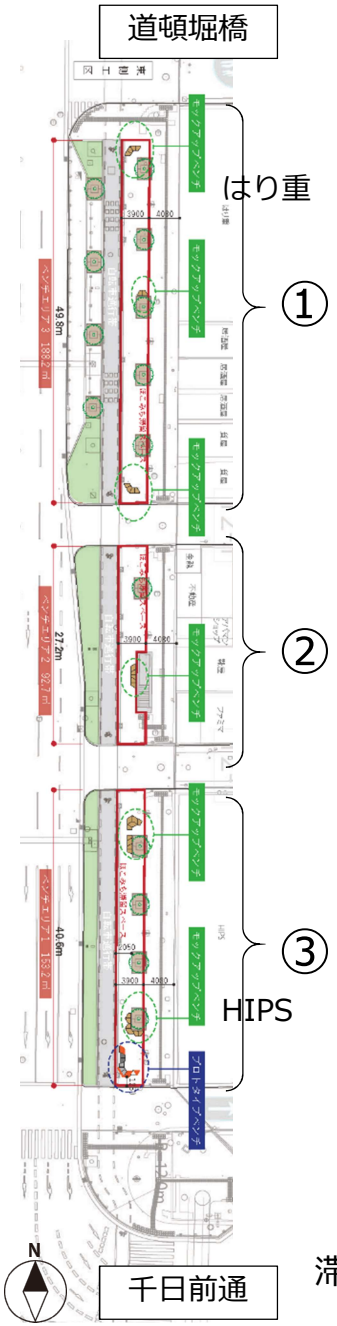
ベンチ設置

実験前と比較して、ベンチを境にして歩行者の通行量が減少しており、ベンチの設置による歩車分離・整流効果が確認できる

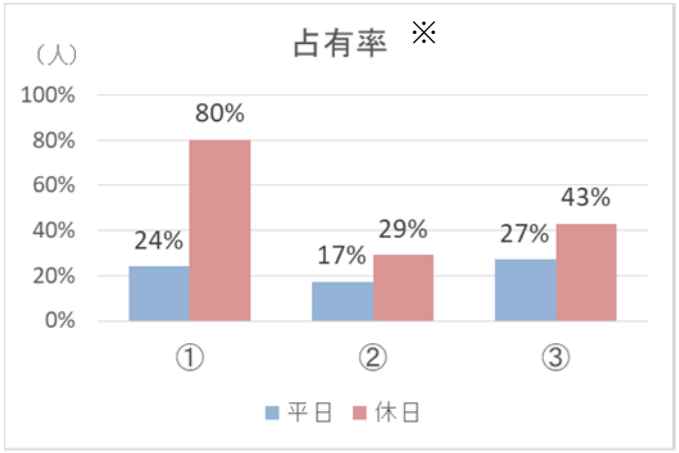
ビデオ調査：実験前－10/12(水)、実験中－10/25(火)から計測

ベンチ設置による滞在効果

利用者からのベンチの評価は高く、利用されている割合も高い





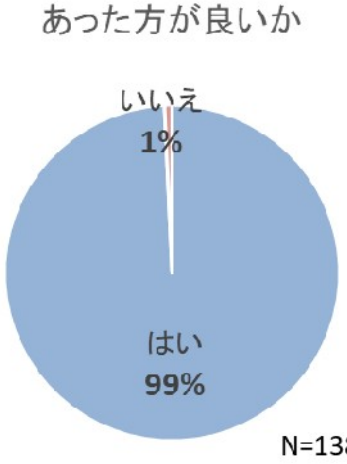


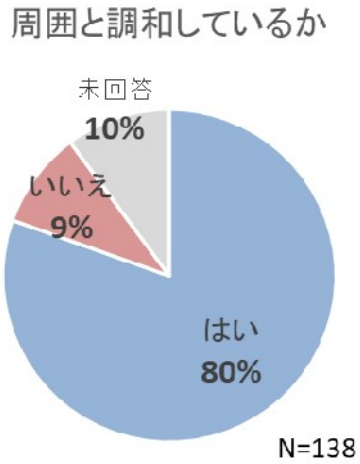
※占有率＝総滞留時間／（ベンチ利用可能人数×調査時間）
〔ベンチが利用されている時間の割合〕

特に休日は、ベンチが利用されている割合が非常に高い

滞留調査：実験中－朝10時～、昼14時～、夜17時～
各15分間







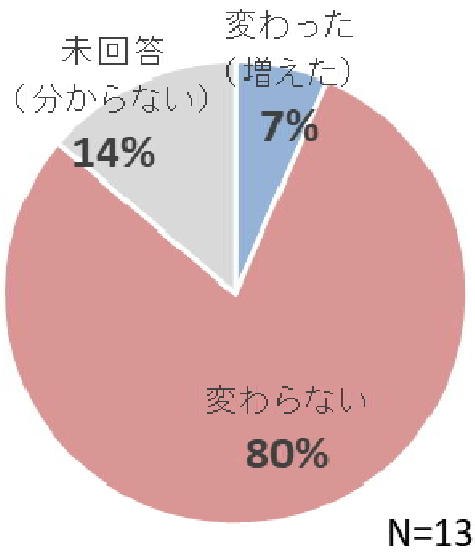
利用者からの評価も高い

現地ヒアリング調査：ベンチ利用者に対しヒアリング
〔平日：11/2(水)－68人、休日：11/3(祝)－70人〕

ベンチ設置による滞在効果

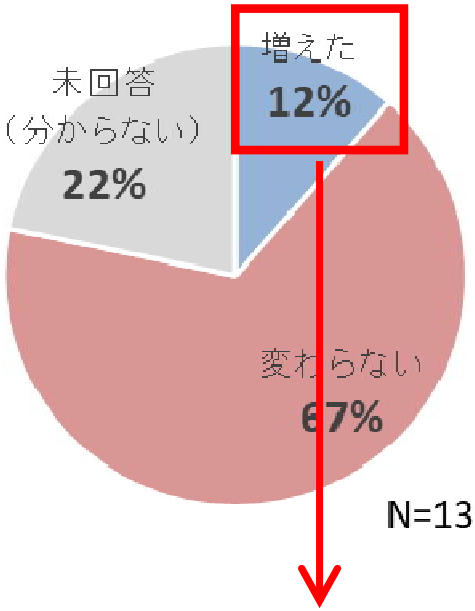
ベンチの設置により、滞在時間や消費意欲の拡大効果も一定確認

訪問先



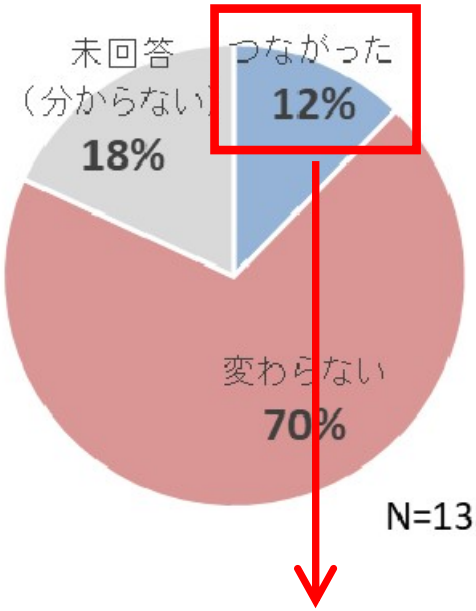
N=138

滞在時間



N=138

消費（購買）活動



N=138

「滞在時間が増えた」「消費（購買）活動につながった」と回答した人はいずれも平日（≠休日）の回答者（16人/68人）であり、この地域の日常的なユーザー層に対してベンチ設置による滞在効果が大きいことがうかがえる

現地ヒアリング調査：２期整備区間のベンチ利用者に対しヒアリング
〔平日：11/2(水)－68人、休日：11/3(祝)－70人〕

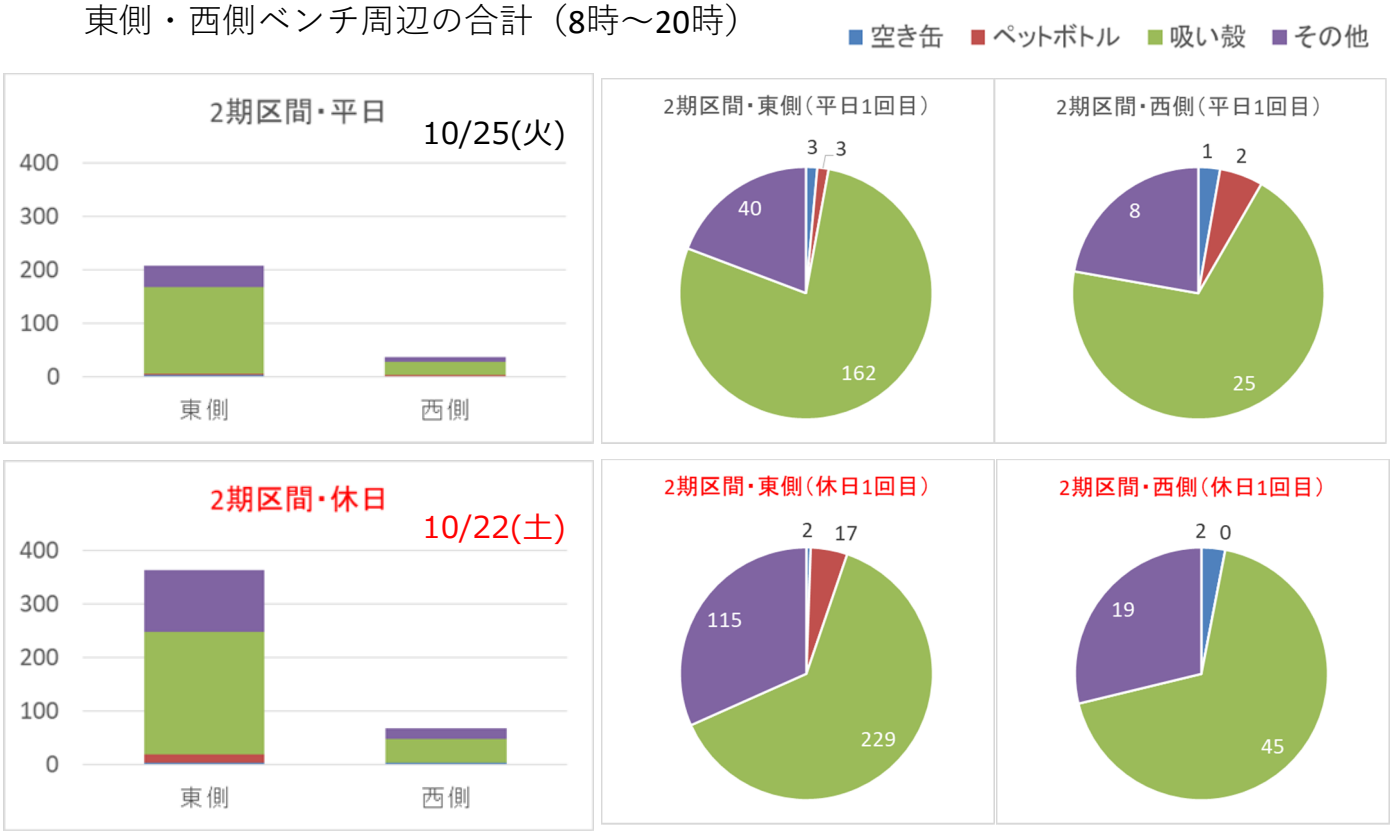
その他、見えてきた課題　：ごみ調査（ベンチ周辺）

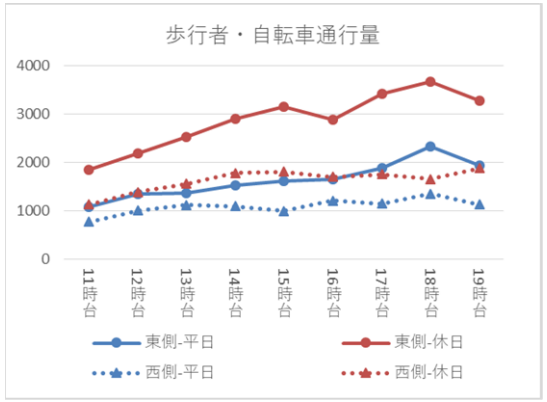
設置したベンチの周辺にはごみのポイ捨てが多発
ごみの内訳は、たばこの吸い殻が最も多く、次いでその他（主に飲食ごみ）

10/22(土) 8時頃の東側ベンチ周辺の状況

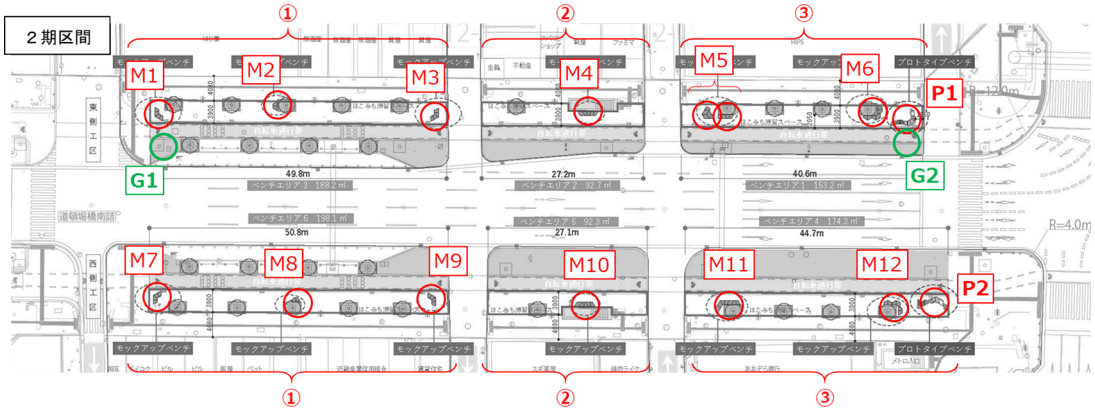


東側・西側ベンチ周辺の合計（8時～20時）





歩行者・自転車の
通行量は、
・東側＞西側
・休日＞平日
となっており、
ごみ量の傾向と一致



その他、見えてきた課題　：ごみ調査（ベンチ周辺）

ベンチ周辺にごみが多発したため、端部と、特に路上喫煙が顕著にみられる箇所に注意喚起の貼り紙を設置（10/27）し、検証









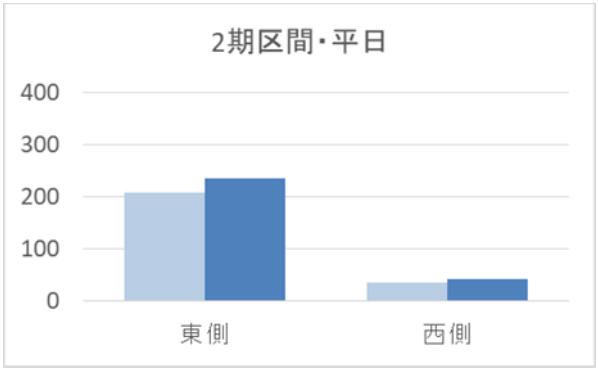
その他、見えてきた課題　：ごみ調査（ベンチ周辺）

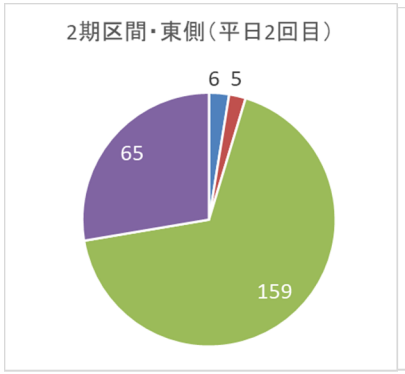
注意喚起により、休日は東西ともに大きく減少し一定の効果が認められたが、平日は微増又は変わらず

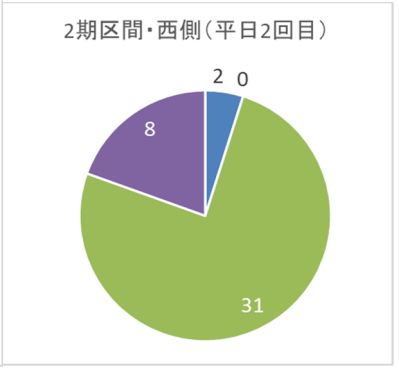


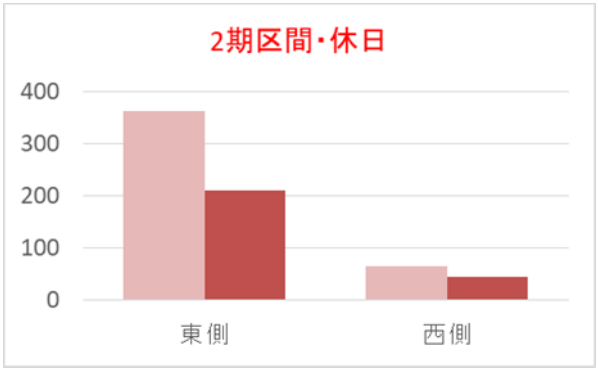
実験中、ベンチ・植栽周りにごみが大量に発生したことを踏まえ、1回目と2回目の調査の間に啓発看板を掲示

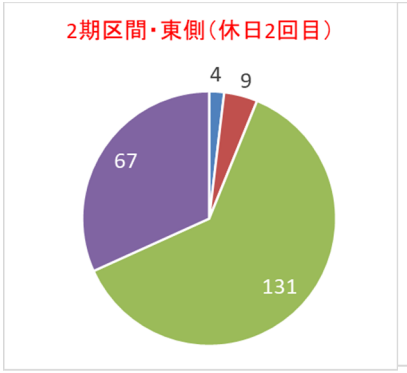
東側・西側ベンチ周辺の合計（8時～20時）

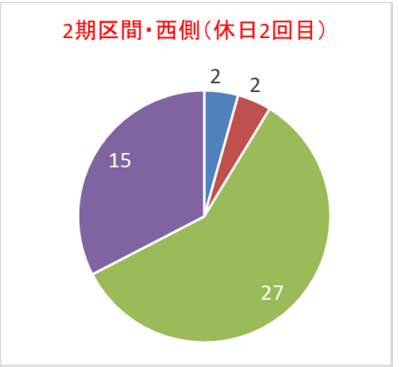




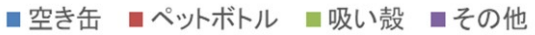










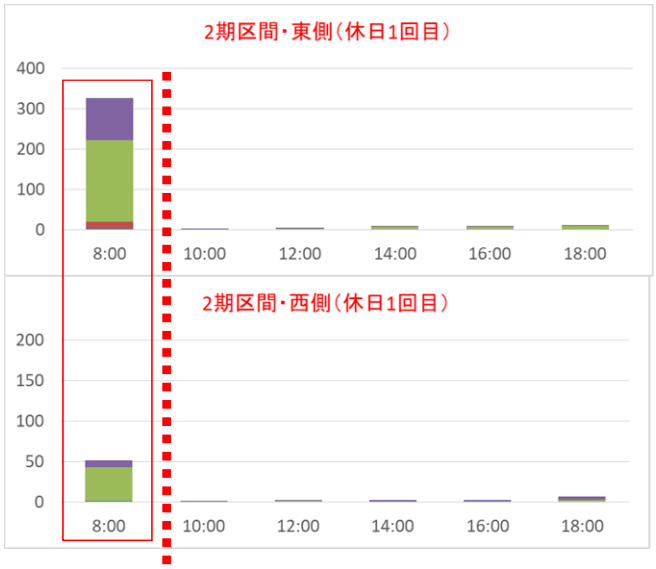


日常的にポイ捨てを繰り返している層（平日の利用者）には啓発の効果は小さいが、
たまに利用する層（休日の利用者）には効果が大きいことがうかがえる

その他、見えてきた課題　：ごみ調査（ベンチ周辺）

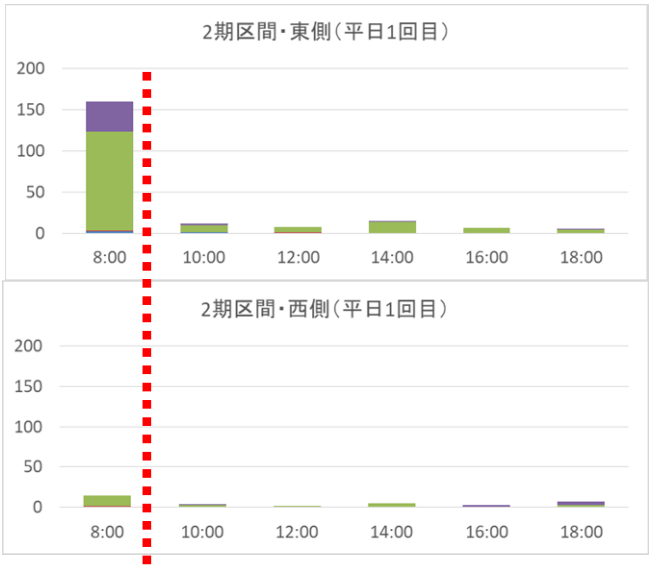
ごみの大部分は夜間（18時以降）に発生

➢ 休日1回目：10/22(土)



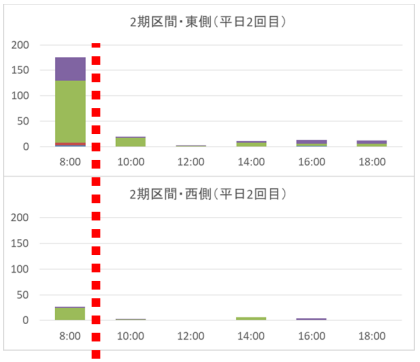
9時頃
ターミナル清掃
（環境局）

➢ 平日1回目：10/25(火)



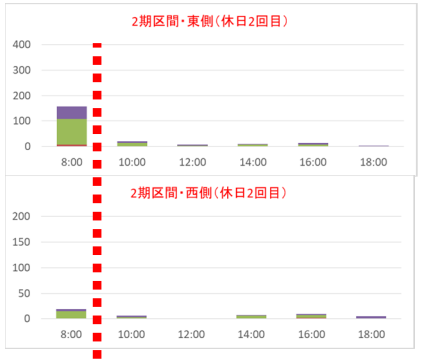
9時頃
ターミナル清掃
（環境局）

➢ 平日2回目：11/2(水)



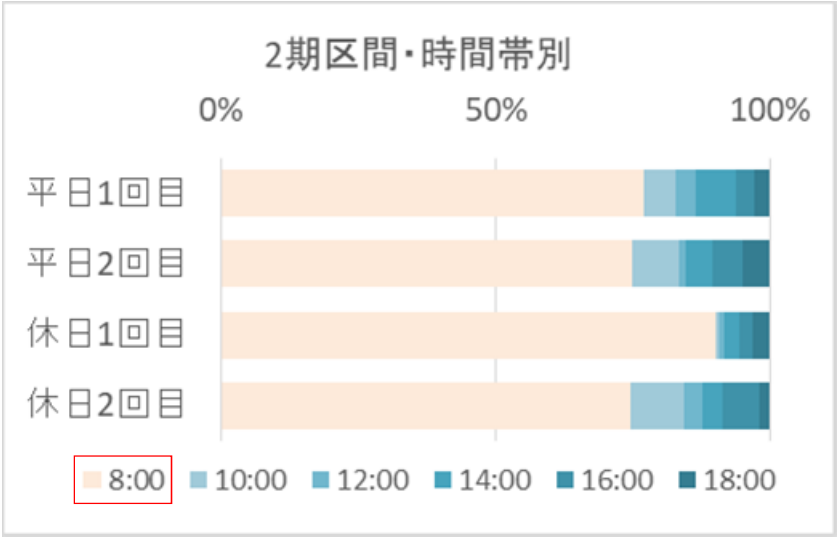
ターミナル清掃

➢ 休日2回目：11/3(木・祝)



ターミナル清掃

全調査日において9時頃ターミナル清掃（環境局）が入っており、8時台のごみ量が全体の3/4以上を占めることから、ごみの大部分は前日の18時から翌8時の夜間に発生しているものと考えられる



検証結果

整流化効果



・ベンチは、にぎわいづくりに加え、歩道内の整流化や自動車進入抑制等の観点から必要な施設であることを確認

歩行者が多い時間帯の通行状況



・しかし、特に東側区間では、歩行者が集中するタイミングでは、自転車道側含めて人があふれる状況も発生
・また、ベンチ周りではごみの問題も発生

ベンチ設置の方針

✓ **自歩の整流化・車止めを行うとともに、休憩滞在機能を兼ねる施設としてベンチを設置**
✓ **歩行者の通行安全性・快適性を損なうことがないよう設置**

整流化
滞在促進・にぎわい

⇔

歩行者通行の
安全性・快適性

箇所毎の交通量等を踏まえ、
適切な空間となるよう調整

植栽の維持管理スキームの検証

スポンサードも念頭に置いた花壇整備・官民連携の維持管理のスキームを検証する

2期整備区間（東側）

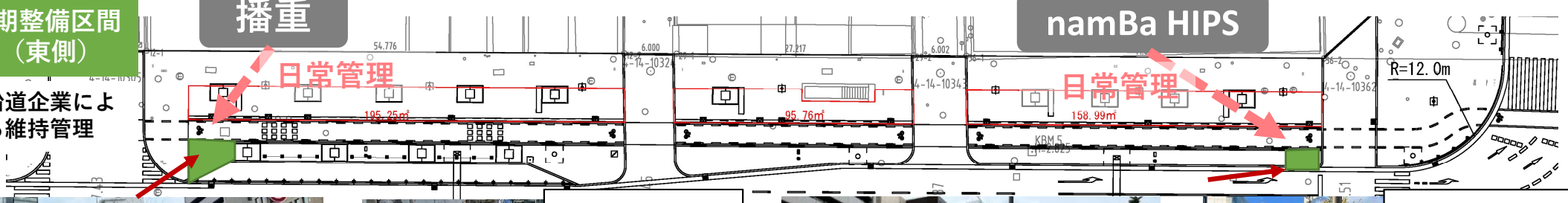
沿道企業による維持管理

播重

日常管理

namBa HIPS

日常管理













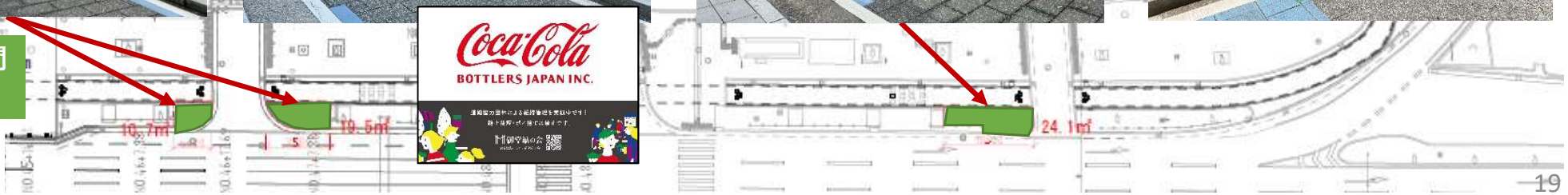






モデル整備区間（東側）

専門事業者による維持管理

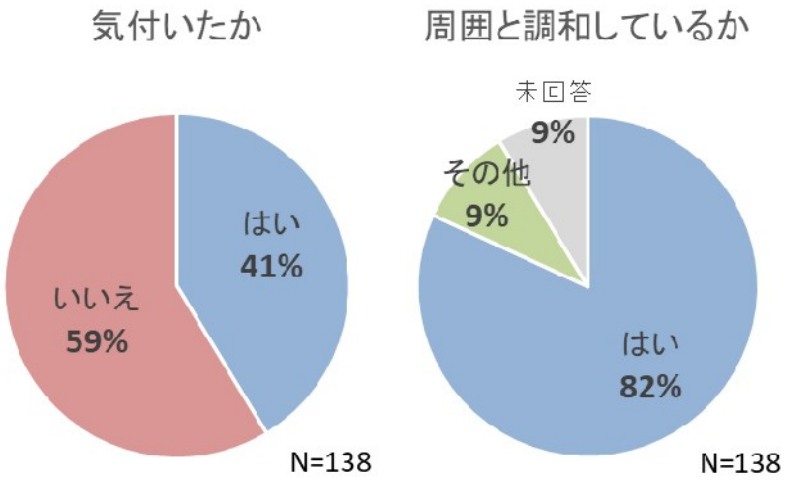


植栽の維持管理スキームの検証

利用者からの花壇の取り組みに対する評価は高いが、一方で、ベンチ同様にごみのポイ捨てが依然として見られる







【利用者の意見】

- きれい、かわいい
- 緑がいっぱいあってきれい
- おしゃれな街のイメージで良い

現地ヒアリング調査：ベンチ利用者に対しヒアリング
〔平日：11/2(水)－68人、休日：11/3(祝)－70人〕



ごみのポイ捨ては依然として見られる

植栽の維持管理スキームの検証

社会実験終了後、継続も、ごみの問題、踏み荒らし、看板の破損などが発生
⇒管理コスト増加







・看板は補修作業中
・補植作業等は予備費で実施も、今後作業が発生するとコスト増

社会実験に対する沿道の声　　※2期沿道会員にヒアリングした結果

【ベンチや植栽の取り組みは、好意的な声が多く寄せられた】

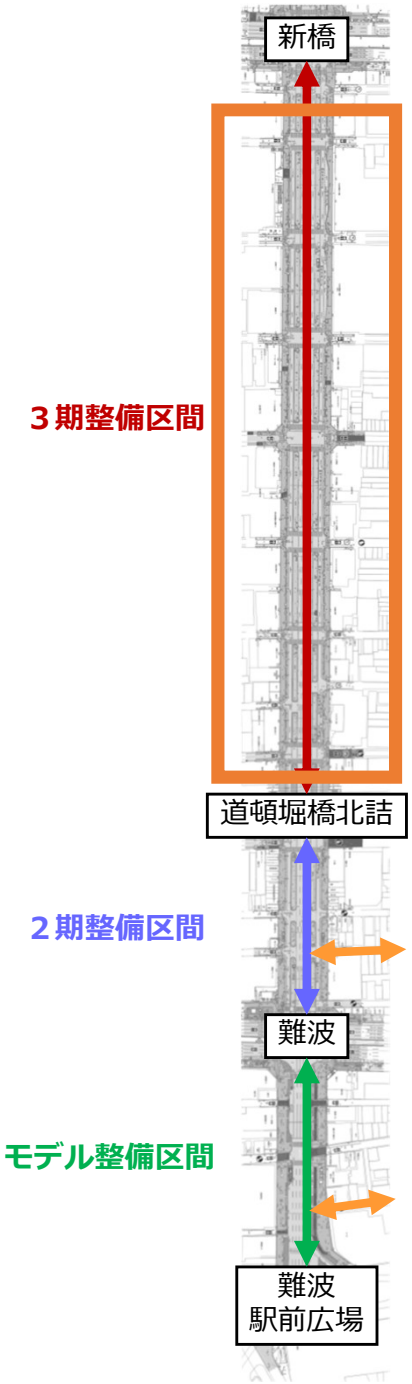
- ベンチは利用者も多く、夕方以降は満席になるケースも見られました。座っている人は若者に限らず、ご年配の方も多く利用されていました。通行者に支障もなく、いい結果だったと思います。
- 植栽は非常によかったです。さらにレベルが高いのをやれれば、それにこしたことはないと思います。ベンチも必要です。
- ベンチは非常に良かったかと思います。当社の前のところには、たくさんの人が座っており、滞留する場としての空間になったと思います。植栽について、美観は良くなったと思います。
- 植栽もベンチも大変よかったと思います。
- ベンチを置くことで、和やかでほっこりする景色が増えた（例：老夫婦がベンチに座ってお茶を飲んでいる。カップルが楽しそうに座っている。外国人観光客がベンチから周囲を見渡している）。
- 植栽はとても良い。道が華やかになった。はり重さんの植栽の写真を撮っている人を見かけた。
- ベンチについて、観光客や家族、サラリーマンなど様々な方が滞留されており一定の目的は果たしていたように思います。

【一方で、ごみやたばこの吸い殻などの課題が聞かれた】

- 課題は、①ごみ投棄、②ホームレス増です。今後毎日対応するとそれなりに費用がかかってきます。
- エリア内の清掃をしてくださっている先とも連携、その上で経費を生み出して委託という取り組みを重ねていってはどうかと思います。
- ごみ問題、吸い殻問題は何か考える必要があると思います。特に休日の翌朝は宴会？の後のような状態になっており朝に市の清掃の方がある程度きれいにしてくださっているのですが、近隣店舗の掃除の負担は大きかったと思います。
- ベンチを設置してせっかく歩行者滞留スペースがあるのですが、ごみや吸い殻が目立ち大変残念です。
- 費用負担の問題がありますが、1日に何度か清掃をしてもらう方がよいのかもしれません。

２期整備区間以南の検証結果　まとめ

検証内容	各項目の確認結果		今後の方向性
	観点	結果	
①ベンチ・サインの最終形をめざした検証	通行空間としての評価【歩車分離・整流効果】	• 端部にベンチ・自転車分離サインを置くことで、歩車分離、整流効果を確認	➢ 歩車分離や車両の進入抑制等の、道路の機能を確保するものとして、**端部ベンチを本設化し、自転車分離サインを耐久性の高い素材に変更**
	ベンチの効果・必要性【滞在効果】	• 利用者からのベンチの評価は高く、利用されている割合も高い • ベンチ等により、滞在時間や消費意欲の拡大効果も一定確認	
	整備による副作用・適正な維持管理【見えてきた課題】	• 設置したベンチ周辺にはごみのポイ捨て、たばこの吸い殻が多発 • 沿道地権者からもごみ対策の必要性を指摘	
②植栽の維持管理スキームの検証	景観への寄与・利用者からの評価	• 花壇の整備に対する利用者からのベンチの評価は高い	➢ 花壇に対する評価は高く、**スポンサードの仕組みや官民の役割分担（維持管理）について、引き続き検討**
	適正な維持管理	• ベンチ同様にごみのポイ捨てが依然として見られ、沿道地権者からも継続的な管理とごみ対策の必要性を指摘	



３期整備区間
実施内容／検証結果

３期整備区間の検証：多様かつ持続性ある利活用を実現するシクミをつくる

過去の社会実験での検証（2017・2020・2021）

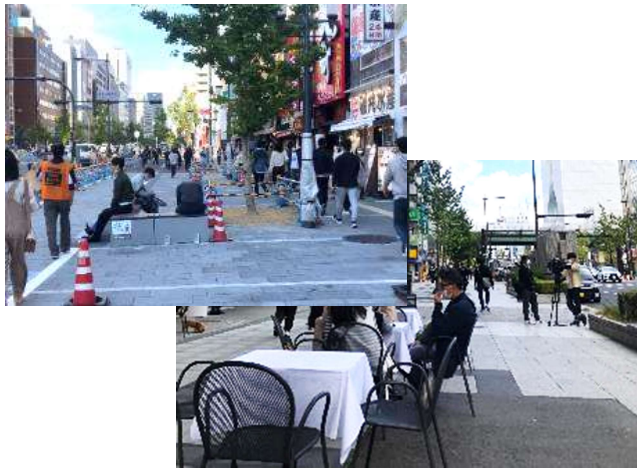
2017
将来の滞在空間を可視化



2020
側道閉鎖影響検証・ほこみち区域指定と利活用検証



2021
供用開始後の歩道での利活用検証



側道閉鎖区間で、過去の社会実験の利活用を実施し、沿道のあり方を検証

①側道歩行者空間化の検証

側道の閉鎖にあわせて歩道を拡張し、歩行者空間化に向けた将来形やほこみち区域のあり方などを検証する

②沿道環境の適正化に向けた検証

放置自転車対策など、エリアの課題である沿道環境の適正化に向けた検証を行う

③将来的な課題の共有化

持続的な管理運営や回遊性の創出、商店街との連携など、整備後の将来的な課題の共有を図る

３期整備区間　側道歩行者空間化の検証

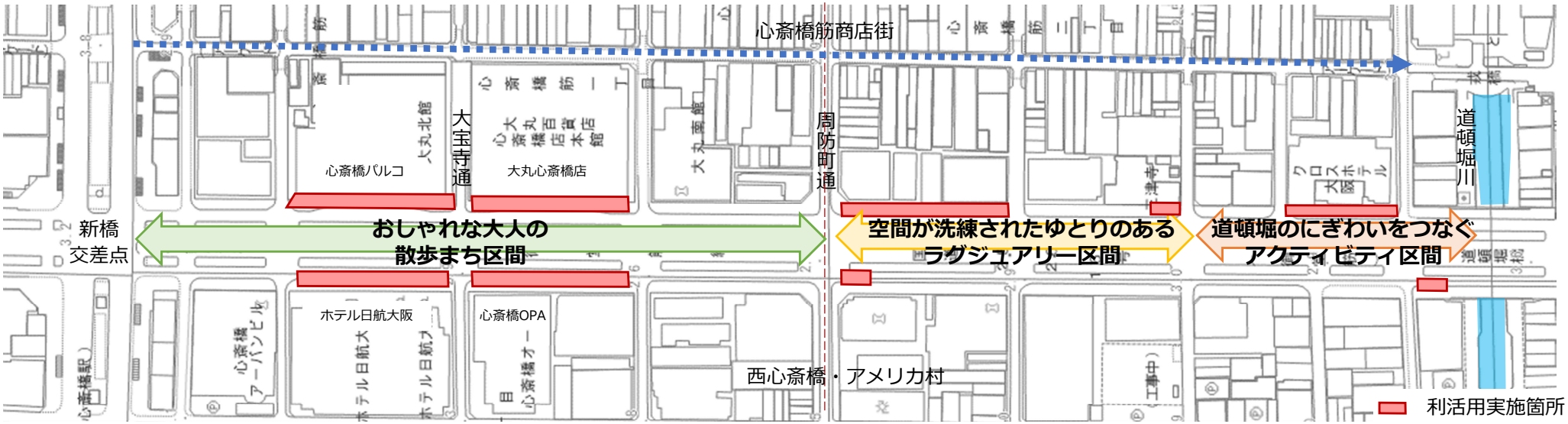
側道閉鎖にあわせて歩道を拡張し、歩行者空間化に向けた将来形や ほこみち区域のあり方等を検証

（御堂筋鰻谷交差点～御堂筋清水町交差点区間【３期北】）

NPO法人
御堂筋・長堀21世紀の会

（御堂筋周防町交差点～道頓堀橋北詰交差点区間【３期南】）

一般社団法人
ミナミ御堂筋の会



にぎわい空間の創出



歩行者空間の創出/歩車分離



滞留空間の創出



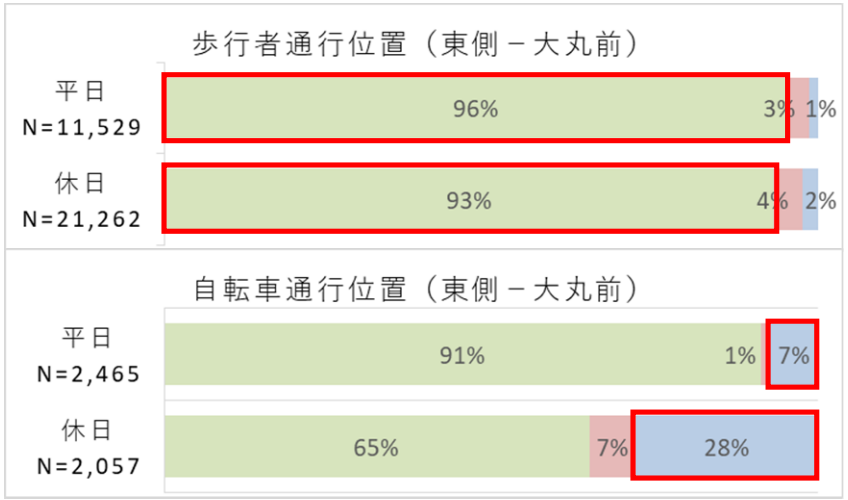
オープンカフェの実施



３期整備区間　側道歩行者空間化の検証（歩車分離）

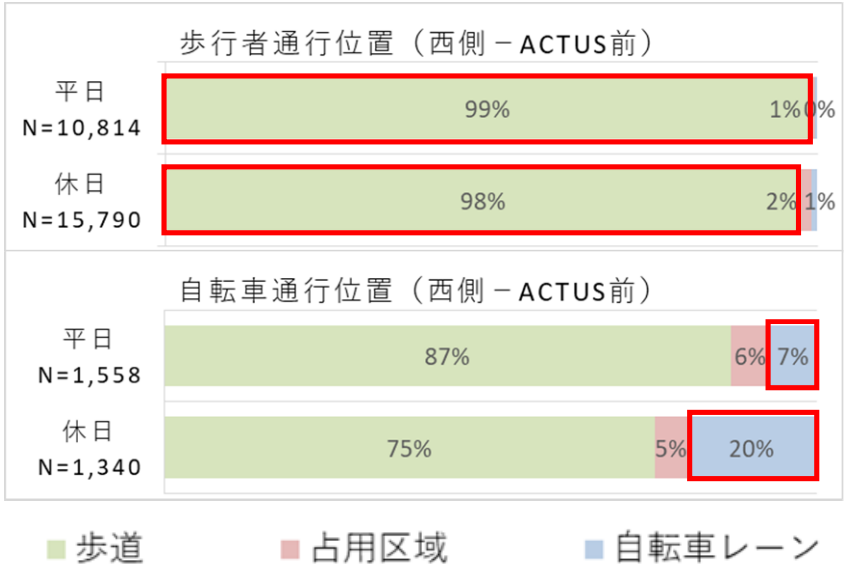
今回は、自転車通行空間が連続していなかった〔実験区間のみ〕ため、自転車の通行位置遵守率は限定的

➢ 東側－大丸前（11時～20時の9時間計の歩行者・自転車通行位置）





➢ 西側－ACTUS前（11時～20時の9時間計の歩行者・自転車通行位置）





ビデオ調査：平日－10/25(火)、休日－10/29(土)から計測

３期整備区間　側道歩行者空間化の検証（ほこみち区域の適正幅員）

整備前（御堂筋チャレンジ2022）の状況確認

- 整備前の通行状況についてビデオ調査を実施
  （御堂筋チャレンジ2022期間中）

➢ **歩行者空間内の最大交通量は 東側(大丸前断面)：40 人･台/分，西側(ACTUS前断面)： 27 人･台/分であり、東西いずれの断面も、ほこみち区域を確保したとしても残りの歩行者通行幅員（4.0m）でサービス水準 A を満たしている状況**

（参考）歩行者空間の望ましい幅員の考え方

国土交通省

■道を活用した地域活動を推進するためには、一般交通に支障を生じさせずに地域活動を実施できる歩行者空間の幅員を確保する必要があります。

■歩道の幅員については、道路構造令第11条第3項～第5項に掲げる「歩行者交通量が多い道路は3.5m以上、その他の道路は2m以上」を満たしつつ、「大規模開発地区関連交通計画マニュアル」を参考に自由歩行のサービス水準Aを目指すことが望ましいと考えます。

歩行者交通に対応し得る充分な施設計画とした上で、さらに快適な歩行環境の形成を行うことが必要である。

・大規模開発地区は、都市内における交通施設整備の良好な事例となることが相応しいいため、高水準のサービスを行うよう充分な幅員とすること。歩行者流量によるサービス水準は次のようであり、水準Aを目指すこと。

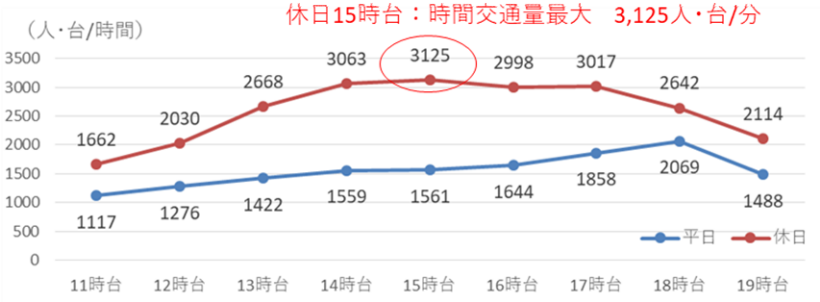
A	自由歩行	～27人／m・分	➡ 歩行者交通量が100人/分の場合は約3.8m以上、150人/分の場合は約5.6m以上の幅員を確保
B	やや制約	27～51	
C	やや困難	51～71	
D	困難	71～87	
E	ほとんど不可能	87～100	

・植樹、特殊舗装（カラー舗装等）、ストリートファニチュアの設置等が行われることが望ましい。

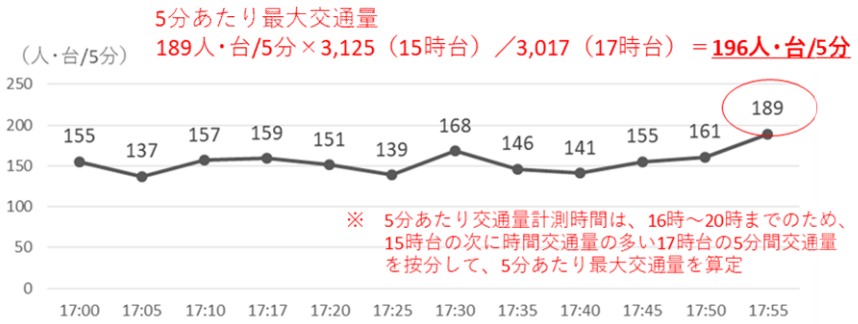
出典：「大規模開発地区関連交通計画マニュアル」平成19年3月　国土交通省 都市・地域整備局 都市計画課 都市交通調査室 より抜粋

■ 東側－大丸前断面

▼歩行者空間における1時間あたり交通量
平日：10/25(火)，休日：10/29(土)　11時～19時台



▼歩行者空間における5分あたり交通量
10/29(土)　15時台（※17時台を按分して算定）



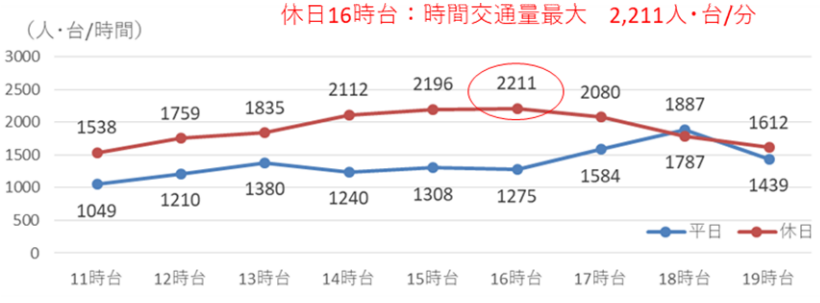
● 5分あたり交通量最大
196人･台/5分

➢　1分あたり交通量
39.2≒40人･台/分

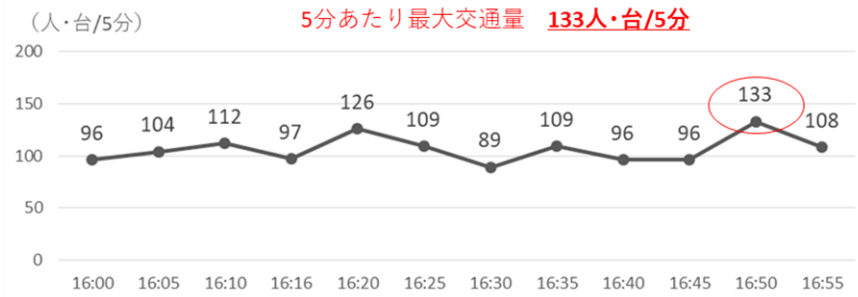
**27人/m･分×4.0m
＝108人/分＞40人･台/分**

■ 西側－ACTUS前断面

▼歩行者空間における1時間あたり交通量
平日：10/25(火)，休日：10/29(土)　11時～19時台



▼歩行者空間における5分あたり交通量
10/29(土)　16時台



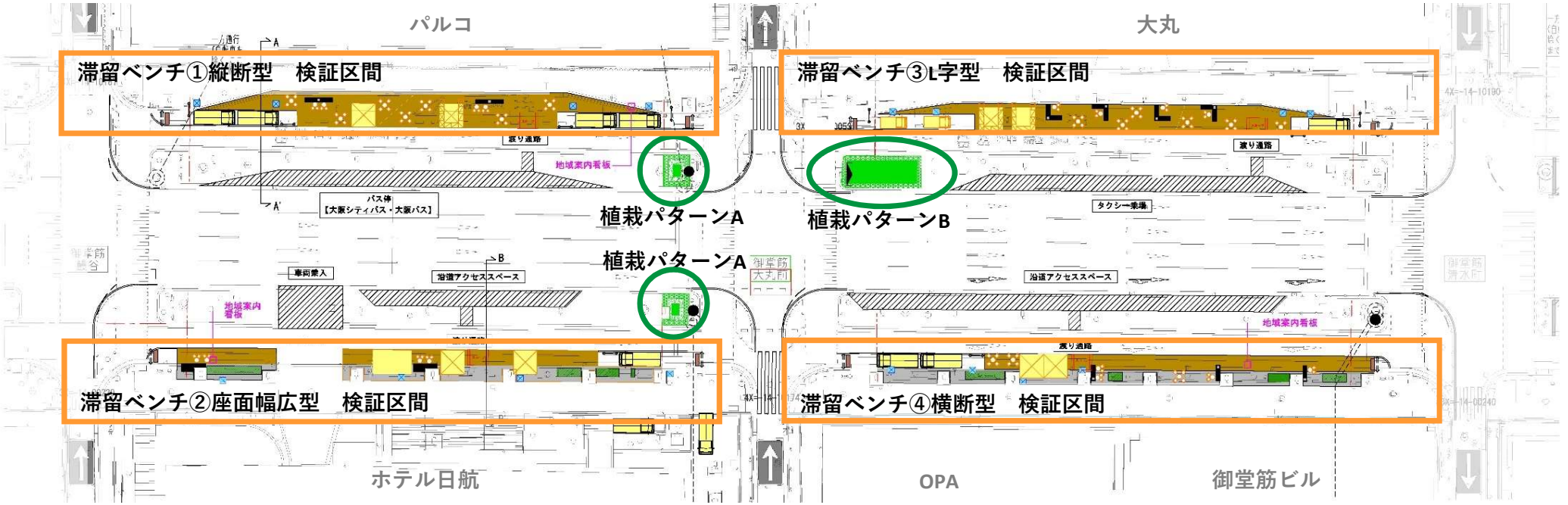
● 5分あたり交通量最大
133人･台/5分

➢　1分あたり交通量
36.6≒27人･台/分

**27人/m･分×4.0m
＝108人/分＞27人･台/分**

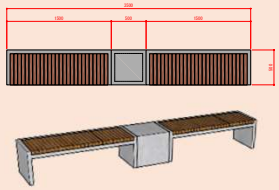
３期北区間の実施内容①　– おしゃれな大人の散歩まち区間 –

ベンチの形状・組み合わせによる使われ方や植栽帯の在り方・デザインを検証

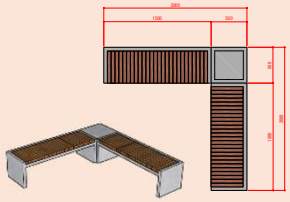


A：滞留ベンチ検証

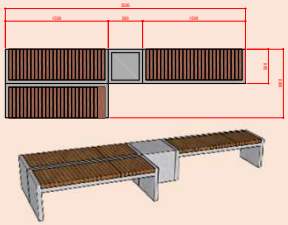
① 縦断型



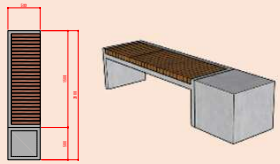
③ L 字型



② 座面幅広型



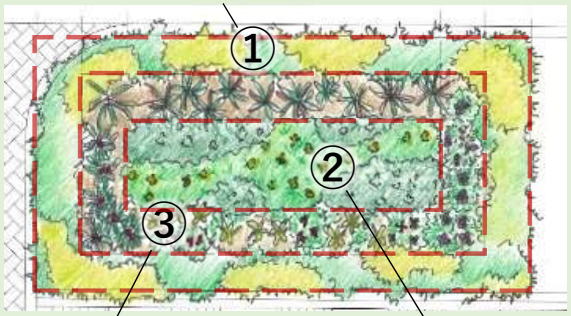
④ 横断型



B：植栽検討

パターンA（スポンサー花壇あり）

黄と緑を織り交ぜて
混ぜ垣のように地被を覆う

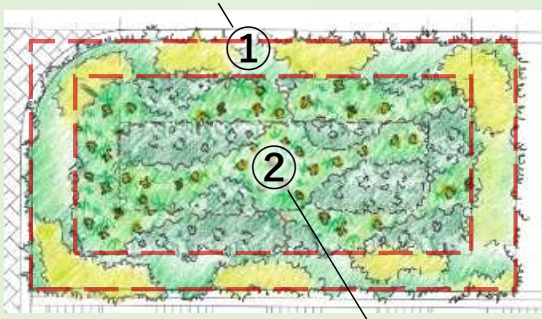


季節や場所ごとに
変化を楽しめる
スポンサー運営花壇

高さの出る低木地被で
立体的な植栽帯を生み出す

パターンB（スポンサー花壇なし）

黄と緑を織り交ぜて
混ぜ垣のように地被を覆う

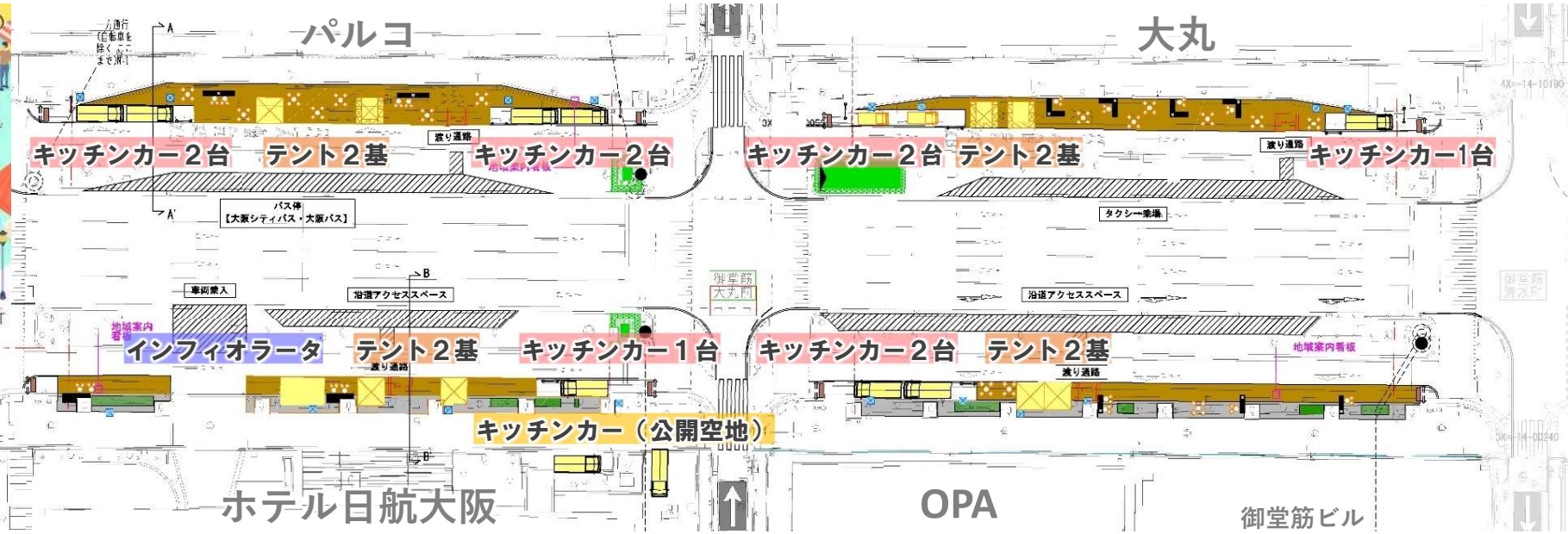


高さの出る低木地被で
立体的な植栽帯を生み出す

３期北区間の実施内容②　– おしゃれな大人の散歩まち区間 –

将来の滞留ゾーンにキッチンカー等店舗を設置しにぎわいを検証。運用面での課題なども抽出





Ｃ１：にぎわいづくり – キッチンカーやテントでの飲食・物販・アート〉


キッチンカー









飲食・物販

Ｃ２：飲食用の可動式家具の設置〉





３期北区間　A：固定ベンチの設置に関する検証

利用面

- いずれのタイプもよく利用されており、利用者からの評価は高かった
- タイプや配置による目立った差は見受けられないが、<u>Ｌ字型は可動式のイス・テーブルとの組合せによる利用が見られた</u>











「Ｌ字型」のベンチは可動式のイス・テーブルと組合せによる利用が見られた

タイプや配置別の利用状況

交通面

- 占用区域との境界がデッキにより明示されていたため、ベンチ設置による歩行者・自転車への目立った交通阻害は発生しなかった



西側：ACTUS前の断面



東側：大丸前の断面

３期北区間　A：固定ベンチの設置に関する検証

管理面

- スケボーによるものと思われる破損が多々見受けられる
- ベンチ周辺に飲食系のごみや、たばこの吸い殻が多数見られる









スケボーによるものと考えられる傷や、衝撃で動いた跡

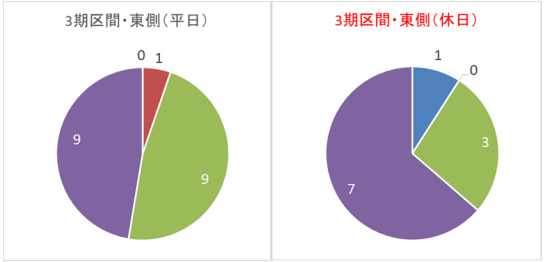
ベンチ周辺に、たばこの吸い殻や、飲食物の包み紙・食べ残し、飲料をこぼした跡などが多数見られる



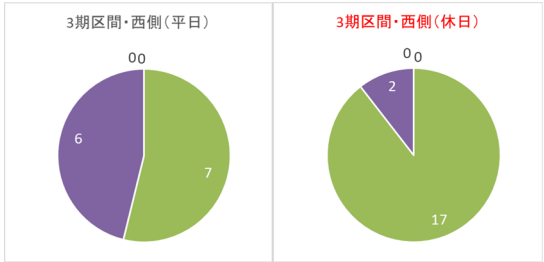




東側ベンチ周辺のごみの内訳



西側ベンチ周辺のごみの内訳



- 飲食系のごみとたばこの吸い殻が多く発生
- ベンチのタイプよりも東西の違いの方が大きい

■空き缶 ■ペットボトル ■吸い殻 ■その他　8時～20時の合計

３期北区間　B：植栽帯の設置に関する検証結果

植栽帯は下記の2パターンを設置、検証

パターンA：スポンサー花壇有りの想定



パターンB：市管理の植栽のみの想定



検証結果

検証項目	検証結果
植栽帯へのごみのポイ捨て状況	日々の巡回では、パターンによる差は見受けられないが、東側の植栽の方が多く見られたベンチ周りと比較すると、たばこの吸い殻よりも空き缶などの飲料物のごみの割合が多い
意図的な踏み倒しなど、イタズラの発生状況	日々の巡回確認では見受けられない
御堂筋の景観への調和など、美的観点の結果	フォトスポットとなるような、場の工夫が必要
花壇管理面の成果・課題	スポンサー運営花壇部分は3日に1回の頻度で水やりを行ったが、長期的な視点で考えると人の手での水やりは人件費がかかりすぎると想定される
花壇生育面の成果・課題	今回は2週間で花を入れ替えた　花壇部分の生育は、特に問題なかった（日比谷花壇様）市管理植栽にて、将来的にもプランターを活用するのであれば、こまめな水やりが必要になるだろうと想定される

３期北区間　C：キッチンカーやテントでの飲食・物販等によるにぎわいづくり

利用面

- キッチンカーやテントは、利用者・沿道ともに概ね好評であった
- 一方で、出店者の選定のあり方や御堂筋に相応しいクオリティの確保が課題としてあげられた



キッチンカーやテントでの飲食・物販は、
にぎわいの創出に寄与

管理面

- 飲食ブース周辺のごみの対策や、従前からの課題であるが、放置自転車対策は大きな課題として残った
- 一部、決められた占用区域からのはみ出しが見られ、ルール遵守の徹底が求められる

飲食ブース周辺のごみの散乱





飲食ブース周辺の放置自転車



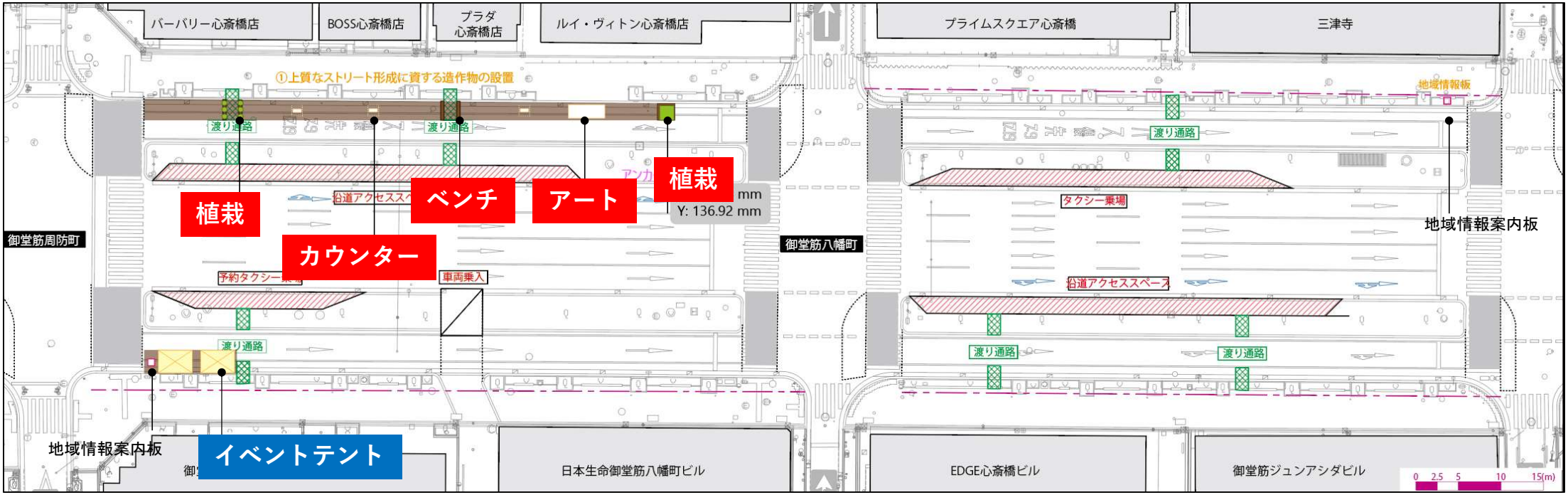




占用区域からのはみ出し

３期南区間の実施内容①　– 空間が洗練されたゆとりのあるラグジュアリー区間 –

上質なストリート形成に資する造作物（ストリートファニチャー・アート等）の設置



A：上質な空間形成に繋がる造作物の検証

アート



ベンチ



カウンター
テーブル
（週末のみ）

植栽



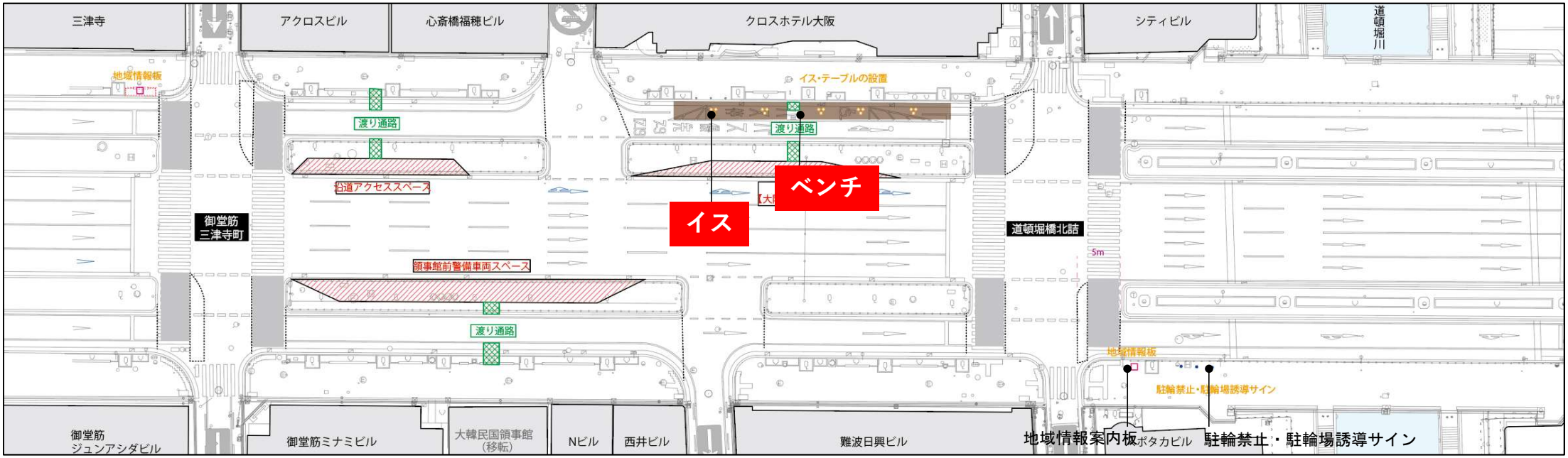
B：滞留の創出

アメリカ村の会と連携した
イベントの実施（出店）



３期南区間の実施内容②　– 道頓堀のにぎわいをつなぐアクティビティ区間 –

アクティビティエリアのにぎわい・滞留空間の創出



c：にぎわい・滞留空間の創出







イス

ベンチ

３期南区間　A：上質な空間形成に繋がる造作物の検証（ハイブランド前）



アート



植栽



ベンチ



カウンターテーブル（週末）

取組概要

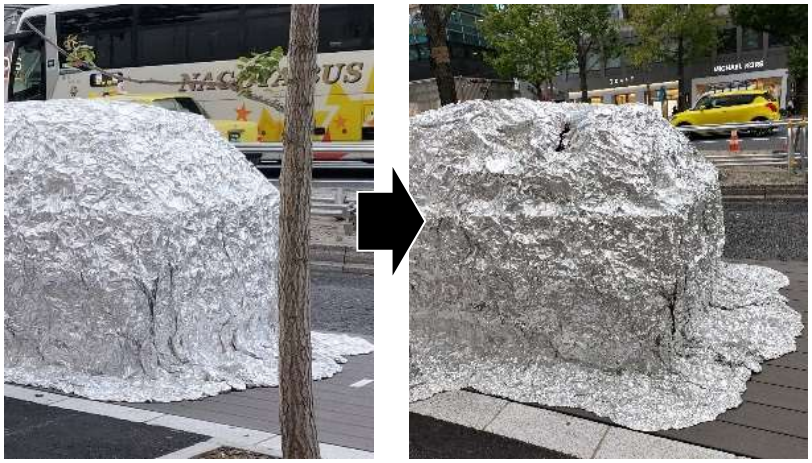
- ハイブランドが立ち並ぶ街区の上質な空間形成に繋がる造作物を検証する。
- また、将来的に道路協力団体の活動資金の一助になり得るか検証する。

利用の様子

- アートや植栽は観光客による写真の撮影に加え、SNSでの投稿等も見られた。
- 一方で、ベンチではごみの放置が一定数見られた。（週末は道協で清掃）
- アート作品については、蹴る・登る等の悪戯も多くあった。
- ハイテーブルはベンチに比べて利用頻度が低かった。

ハイブランドストアからの声

- 街中の憩いという感じがしてとても良かった。
- ベンチは良い雰囲気だがごみや治安の懸念があること、アートはもう少しわかりやすい内容が良かった。
- あるブランドより、店前ということもあり、ブランドが主催した取組のように見えてしまうため、権利関係等に留意してほしい旨の伝達を受けた。
- **万博期間中にブランドデザインによるアートやベンチなどの設置について関心の声をいただいた。**



アートへの悪戯



ごみの放置

３期南区間　B：アメリカ村の会と連携したイベントの実施











取組概要

- 御堂筋の周辺拠点（アメリカ村）の事業者によるPOPUPイベント（古着等の物販）を行い、滞留の創出や売上の検証、POPUPイベントの意義について、検証を行った。

利用の様子

- 営業開始の昼すぎは立ち寄る数が少なく、夕方以降に立ち寄りが増える傾向が見られた。

出店者・コーディネート主体からの声

＜取組の意義や課題＞

- それぞれの店舗がエリアの将来を考えてくれるきっかけになったのではないか。
- 御堂筋とアメリカ村では歩いている客層が異なる。午前は凪の時間。夕方くらいのアメリカ村帰りのお客さんが多いイメージ。
- まだ、場所が商圏として認識されていない。

＜将来的な方向性＞

- イベントしている街区が北側から途中で途絶えており、足を止めづらい環境だった。連続して一体的に取り組むとより良いものになるのでは。
- 定期的に開催していくと、だんだんと固定客がついてくる。

＜売上＞

- BIG STEPでイベントを行うよりも売り上げがかなり小さい。（1/10程度）

売上概算

- 最小3万弱～最大13万円（ 2～3店舗／日）

３期南区間　C：沿道事業者と協力した可動式家具の運用等による滞留空間の創出











取組概要

- 固定式のベンチを設置するとともに、週末にはクロスホテル備品のイスを道路協力団体で運用し、沿道利用者の滞留空間を創出。
- 可動式家具について、運用の意義や将来的な運用可能性について検討を行った。

利用の様子

- 歩行者の休憩が多く見られるとともに、ホテルチェックイン前やチェックアウト後の利用者も見られた。
- 可動式家具は、利用者が形を変えて自由に活用している様子も見られた。
- 可動式家具の周辺へのごみの放置は見られなかったものの、固定式ベンチ周辺はごみの放置が多く見られた。

協働した沿道事業者の声

＜運用の意義と課題＞

- イスやベンチは効果的で、有意義に使ってもらえた。
- 大丸やパルコとクロスホテル前では景観が異なる。今回、通りがスキっとしており、良かった。
- 一方、ごみや喫煙が増加するという課題も見られた。特にハロウィンのときはひどかった。道路の清掃は沿道店舗と道路管理者の分担が課題。

＜将来的な運用可能性＞

- ホテルと関係のない利用者が大半であり、ホテル自体でイス等を運用することは難しい。
- ただ、ホテル内には飲食・物販など様々なテナントがあり、イベント実施であれば手が上がる可能性がある。出店は、テナントの運営事業者という括りで見てもらえると、間口が広がってよい。
- ホテル内には地域共創の取組を行う部署があり、今後はそちらとも協力できるとよいのではないか。

３期整備区間の検証結果　まとめ

検証内容	各項目の確認結果		今後の方向性
	観点	結果	
ベンチの形状・組み合わせによる検証	ベンチタイプの違いによる使われ方や、歩行者の交通阻害の発生・管理面の課題の把握	• ベンチタイプの違いによる使われ方に目立った差は見受けられないが、Ｌ字型は可動式のイス・テーブルとの組合せによる利用が見られた • 一部のベンチでスケボーによる破損や、夜間において酔っ払いやホームレスのベンチ占領あり	➢ スケボーや酔っ払い・ホームレス対策の検討（形状／素材等）の検討 ➢ 人の流れや活用方法を検証し、ベンチの配置の検討
植栽帯の在り方・デザイン	景観面の評価や、従来の樹種との違いによる管理・生育状況の把握	• 花壇整備に関して利用者からの評価は高い。 • 従来の樹種との比較においては、現在のところ、生育状況は良好であり、管理上の大きな課題もみられないが、夏場の生育や管理状況が不明なため、引き続き経過観察が必要。	➢ 夏場の生育状況の把握や、管理運営方法の仕組みについて引き続き検討
活用内容が大阪のメインストリートとしてふさわしいか	飲食・物販等によるにぎわい創出	• キッチンカー、テントは、利用者・沿道ともに概ね好評であったが、出店者の選定のあり方や御堂筋に相応しいクオリティの確保（ブランディングの問題：唐揚げがふさわしいか、等）が課題 • 一般からのキッチンカーの出店希望の問合せが多く、公平性の観点から選定過程の明確化が必要	➢ 御堂筋にふさわしいクオリティを確保するためのブランディングの設定と、出店者の公募の仕組みの構築について、引き続き検討
	上質な空間形成に繋がる造作物の設置	• ストリートファニチャー、アート等については、沿道から万博に向けてブランドデザインによる参画に関心を示されるなど、取り組みの意義が見られ、上質な空間形成にも寄与	➢ 設置に向けたコンセプト等、周辺ブランドとの協力・連携による取組の仕組みづくり
	周辺拠点と連携したイベントの実施	• 御堂筋とは客層が異なるため、滞留効果は限定的であったが、それぞれの店舗がエリアの将来を考えるきっかけとなった点では意義があった	➢ 回遊のコンセプトをより深めた企画への展開や、認知に繋がるような告知や継続的な実施が必要
	可動式家具の運用等による滞留空間の創出	• イスやベンチは、利用者から好評であり滞留空間の創出に寄与する一方で、出し入れの手間の負担が大きく運用面が課題	➢ 沿道との協力による管理運営の仕組みづくりが必要

沿道の適正化に向けた取り組み

沿道の適正化に向けた検証

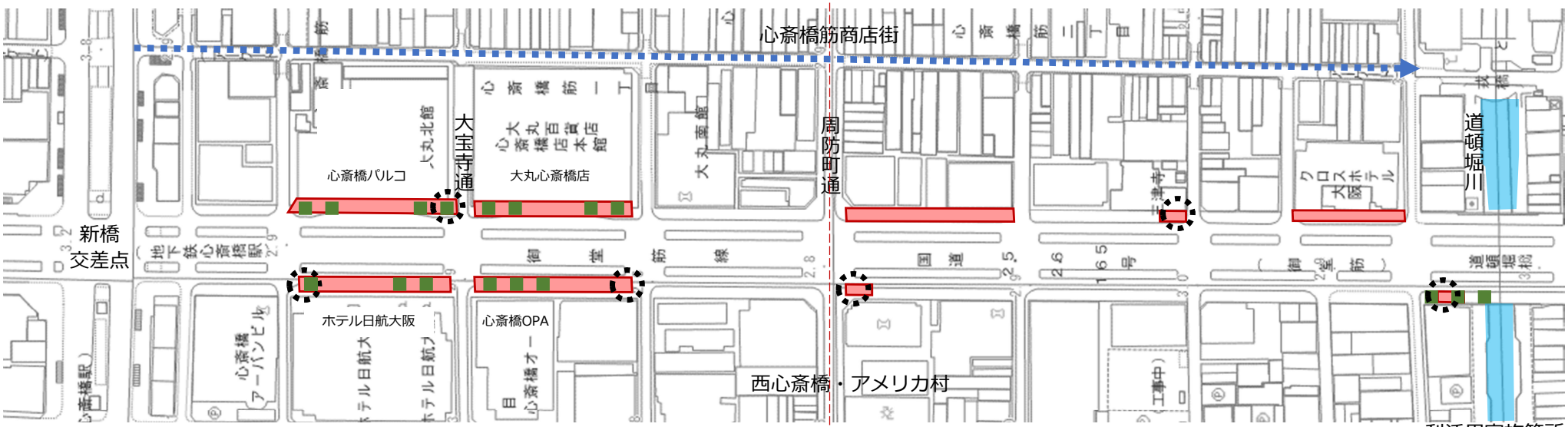
不法駐輪の削減と駐輪場の利用率向上、
周辺への誘導に向けた情報案内等による沿道空間の適正化などを検証

（御堂筋鰻谷交差点～御堂筋清水町交差点区間【３期北】）

NPO法人
御堂筋・長堀21世紀の会

（御堂筋周防町交差点～道頓堀橋北詰交差点区間【３期南】）

一般社団法人
ミナミ御堂筋の会



■ 駐輪禁止等サイン実施場所

◌ 地域情報案内板実施場所

利活用実施箇所





駐輪禁止等サイン設置





地域情報案内板の設置

地域情報案内板の設置に関する効果検証







取組概要

- 周辺拠点への回遊性を高めつつ、道路協力団体の財源を確保できる可能性があるか、歩行者が立ち止まるかの確認や、ヒアリング調査などで検証を行う。

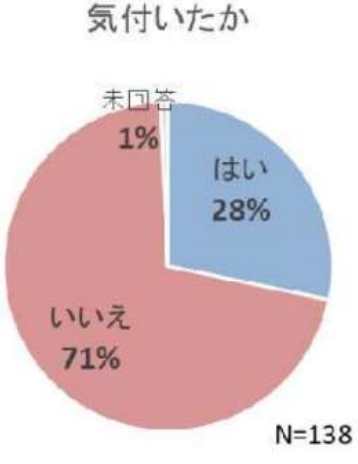
現地の様子

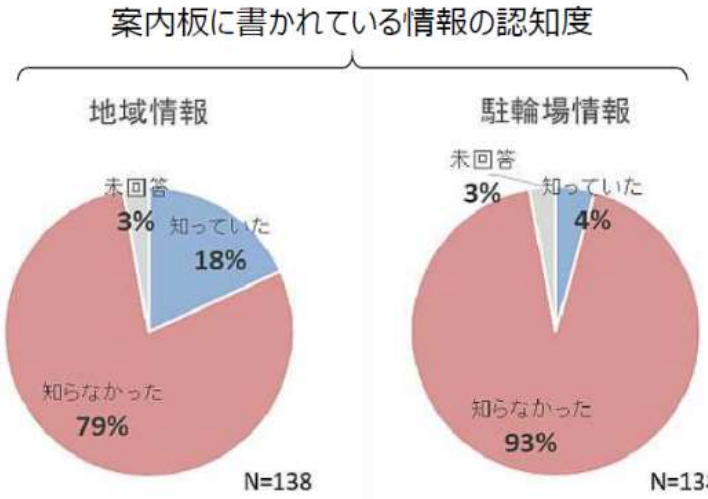
- 信号待ちなど、立ち止まりが発生する場所で目を向けている方が一定見られた。
- 一方で、歩行中に立ち止まる方はあまり見られなかった。

ベンチ利用者へのヒアリング結果

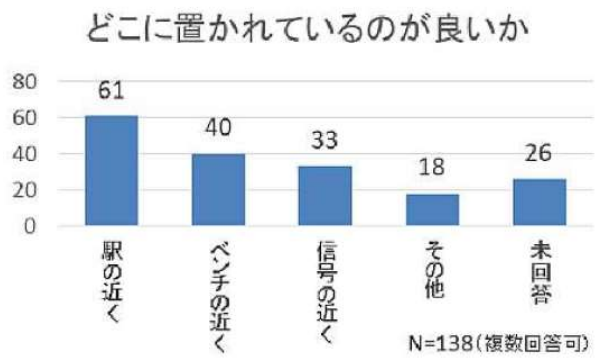
- 地域情報案内板の認知度は約3割程度にとどまった一方で、案内板がまちなかにあった方が良いとの回答が多く得られた。
- 周辺商店街等の意見も踏まえて、今後、設置箇所を含めたより気付いてもらえる手段を検討する必要がある。

【現地ヒアリング調査　結果　】









社会実験期間中の放置自転車対策の取組

啓発活動

① 放置駐輪が多いエリアへの啓発看板の設置 【地域・道路協力団体】

② 地域情報案内板への駐輪場MAPの掲載 【地域・道路協力団体】

③ 道路協力団体・沿道地権者による啓発活動 【地域・道路協力団体】

駐輪施設の対策・警備員の配置

④ 心斎橋パルコ駐輪場の料金改定（6/1～）／２段ラックの有効活用 【地域・道路協力団体】

⑤ 警備員（沿道ビル／空間再編工事〔市〕）による啓発と駐輪場への誘導 【地域・道路協力団体／行政】

撤去

⑥ 放置自転車の撤去（平日：10/21、休日：11/12） 【行政】

調査

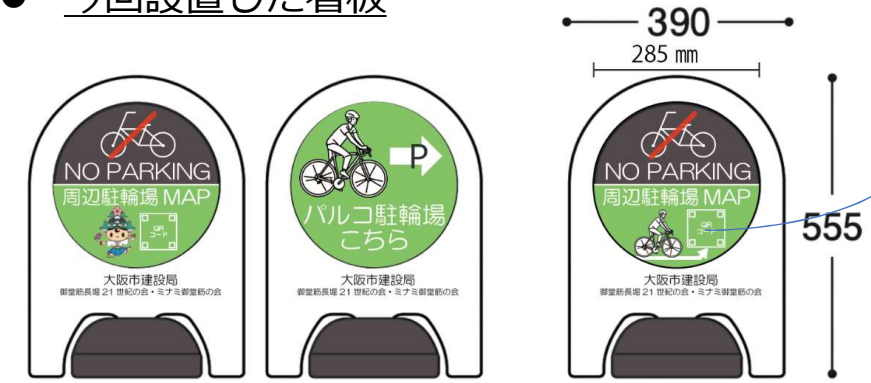
⑦ 放置自転車ユーザー調査 【地域・道路協力団体】

⑧ 放置自転車の台数調査（平日：10/28、休日：10/22） 【行政】

啓発活動

① 放置駐輪が多いエリアへの啓発看板の設置

- 今回設置した看板





駐輪MAP

QRコードを
読み取る人
の様子





- スポタカビル前（ミナミ御堂筋の会）の状況





- 駐輪ＭＡＰへのアクセス（ダウンロード）数
（中央区役所と連携）

	心斎橋エリア	ミナミエリア	計
10月	135	54	189
11月	71	13	84

通常の駐輪MAPは中央区全体版であるが、実験期間中は「心斎橋エリア」「ミナミエリア」版をHPに掲載しQRコードで見られるようにしている。
社会実験期間の前半にアクセスが多く見られた。

- 駐輪の少ない時間帯は啓発看板の効果が見られた。一方で、駐輪数が増加すると効果が小さい。
- 今回設置したものは、サイズが小さいなど効果が低いと感じた。
- 看板が小さいためか、看板と看板の間への駐輪等も見られた。

➢ サイズの変更（大きく）、設置箇所の追加を検討

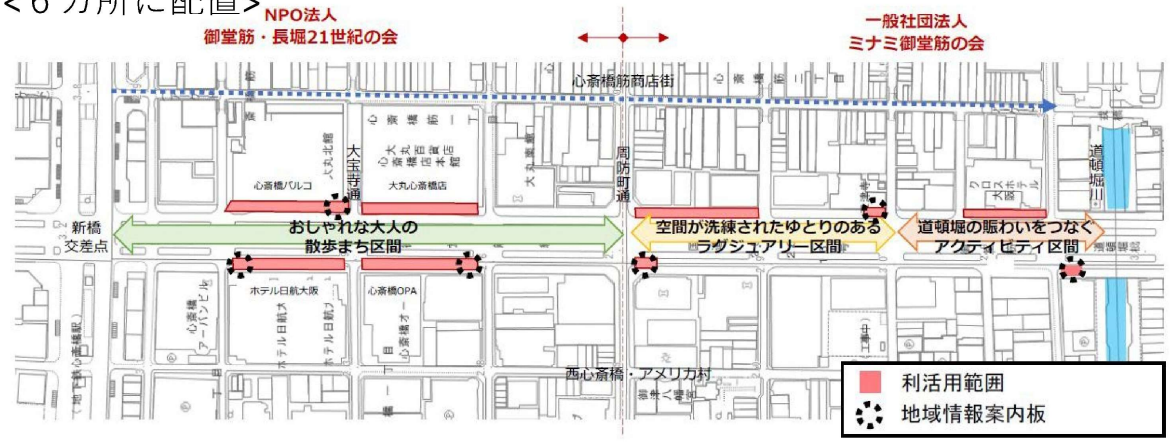
② 地域情報案内板への駐輪場MAPの掲載







<6 カ所に配置>



- 案内板の「周辺の駐輪場案内」は道路側（整備後の自転車通行空間側）を向いていたため、自転車利用者への周知の効果は小さかったと考えられる（本来の目的が地域情報の案内のため）。

啓発活動

③ 道路協力団体・沿道地権者による啓発活動

- 道路協力団体の2団体による合同啓発活動

10/18（火）12時半～




10/31（月）17時半～




- 沿道地権者による日常的な啓発活動




- ミナミべっぴんプロジェクトへの参画）〔エフ札貼り等〕

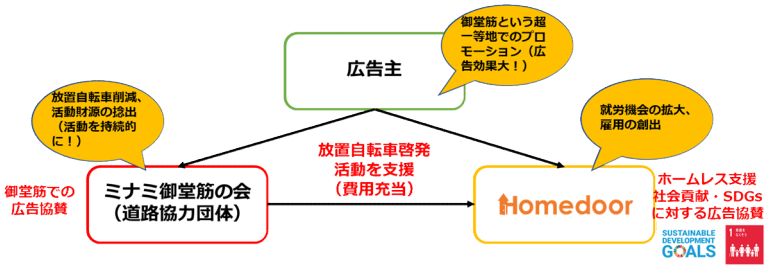
10/22（土）



- 民地での啓発看板設置



- 認定NPO法人Homedoorと連携した駐輪啓発事業

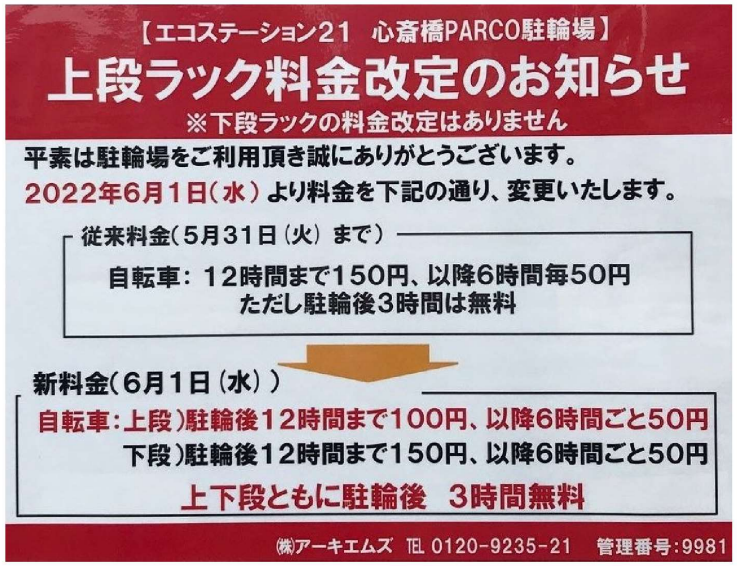




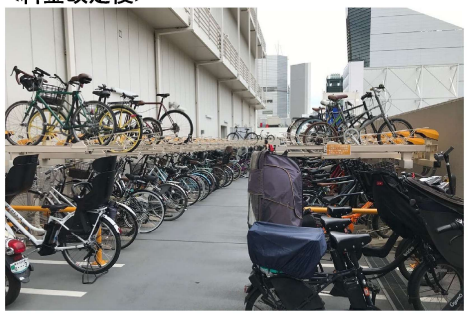
➢ 引き続き、実施可能な取り組みを継続

駐輪施設の対策・警備員の配置

④ 心斎橋パルコ駐輪場の料金改定（6/1～）／２段ラックの有効活用



<料金改定後>



<料金改定前>



- 心斎橋パルコ駐輪場の入口



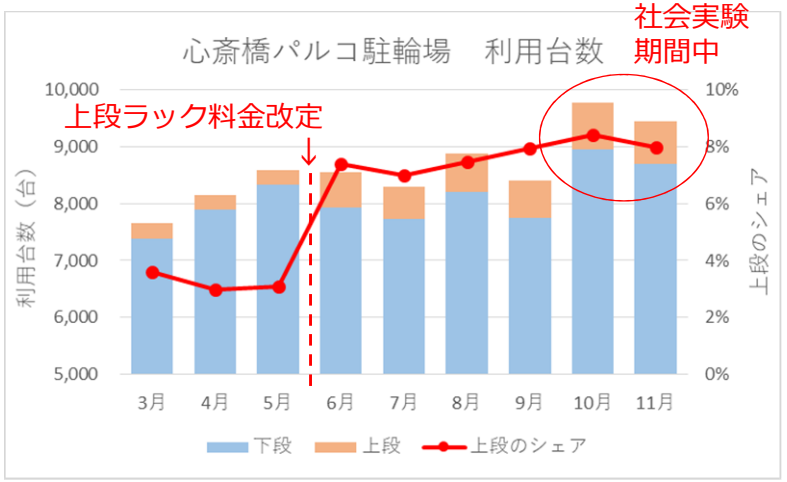


- 社会実験期間中の状況（11/12）





- 駐輪場の利用状況の推移



- 上段ラックが料金改定された６月を境に上段ラックの利用割合が大幅に増加
- 社会実験期間中の10月、11月は駐輪場の利用台数全体が増加

- 料金改定後は上段ラックの利用（シェア）が大幅に増加し、社会実験期間中は利用台数全体に増加が見られた。
- 一方で、御堂筋からは駐輪場の入口が分かりにくいとの意見もある（周知の工夫・徹底）。

➢ 継続的に実施

駐輪施設の対策・警備員の配置

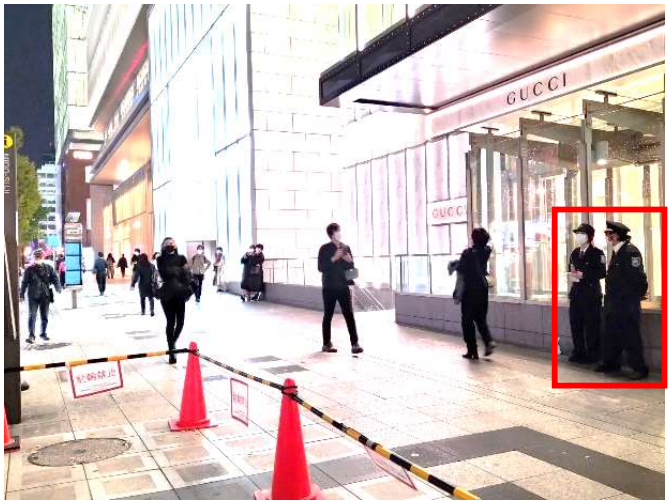
⑤ 警備員（沿道ビル／空間再編工事〔市〕）による啓発と駐輪場への誘導

- 週末の日中に警備員を配置〔市〕



スポタカビル前（10/29,30,11/5,6,13）

- 民間による配置



パルコ前（10/21～　週末）



OPA前（10/15～10日間　+木金土日）

- 警備しているエリアは一定の効果があるが、駐輪場所が周囲に移っている状況
- また、費用が必要な取組であり、持続的な実施は難しい
- 行政としては、現在は工事期間中であり工事の警備員を活用できるため、限定的な対応である

撤去

⑥ 御堂筋における放置自転車の撤去（平日：10/21、休日：11/12）

- 平日：10/21



OPA（ACTUS）前

- 休日：11/12



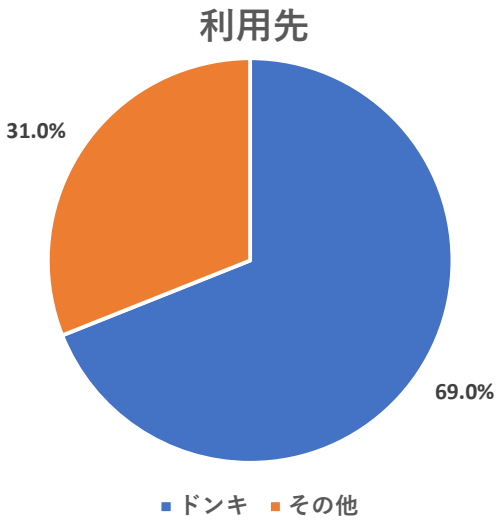
OPA（ACTUS）前

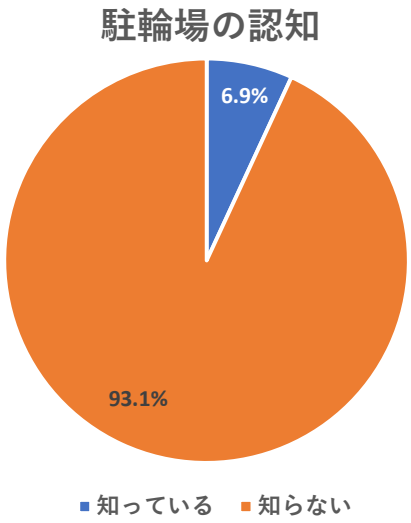
- 撤去直後及びしばらくは放置自転車台数が少ないままで推移するが、時間の経過とともに増加しはじめ、再び元の台数程度に戻ってしまっている状況である。

⑦ 放置自転車ユーザー調査結果①：スポタカ前歩道上

駐輪場を知っている人は1割以下、一方で認知と利用が比例するかの検証も必要

- 実施日：2022年10月29日（土）11時～14時
- 対象　：歩道上に自転車を停めた人／停めた自転車に乗ろうとしている人　計29名
- 方法　：調査員がインタビューで実施







QRコードを
読み取る人
の様子

調査の様子



＜回答者の主なコメント＞

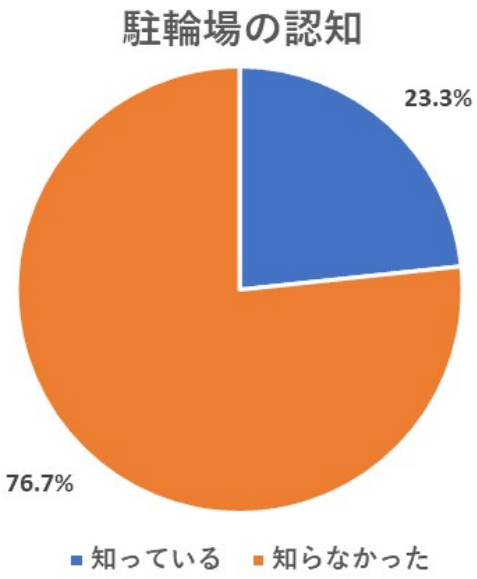
- 駐輪場は大丸くらいしか知らない
- 初めてきたので場所を知らない
- 千日前の駐輪場はここから遠いため、この場所に止めた
- 分かるところに駐輪場を作ってほしい
- たくさん止まってたから止めていいと思った

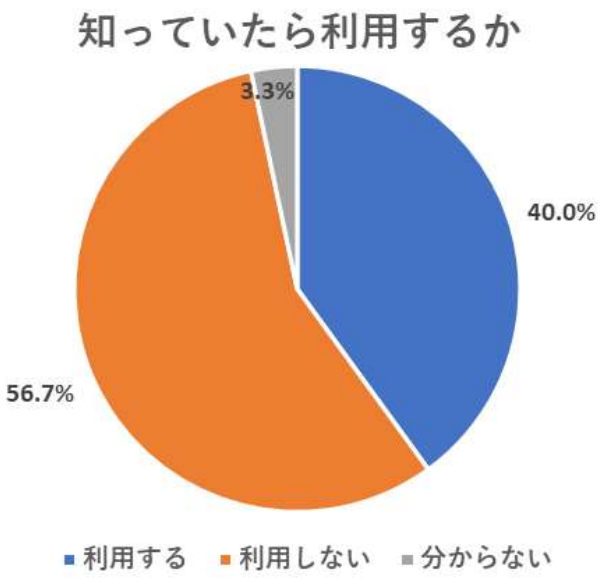
- 大半が駐輪場を認知していない状況であり、啓発の意義がある。
- また、現場でQRコードを読み込む方も一部見られた。
- 一方で、一部のコメントから、認知＝利用に繋がらないという可能性が感じられた。
  - ➢ **認知と利用意向の関係を確認するための追加調査を実施（次頁）**

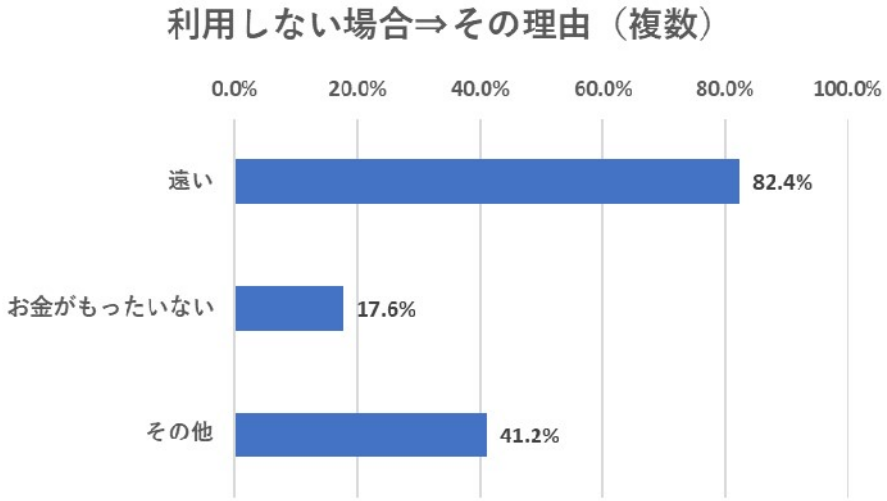
⑦ 放置自転車ユーザー調査結果②：スポタカ前歩道上

駐輪場を知っている人は1/4以下、知っていても利用しない人が6割弱

- 実施日：2022年11月12日（土）13時半～16時
- 対象　：歩道上に自転車を停めた人／停めた自転車に乗ろうとしている人　計30名
- 方法　：調査員がインタビューで実施







- 駐輪場を知っている人は1/4以下
- 駐輪場を知ってたら利用する人が４割であり、まずはこの層を啓発でつぶしていく必要がある
- 一方で、それ以外（全体の半数以上）は知っていても利用しないと回答しており、抜本的な対策の必要性がうかがえる

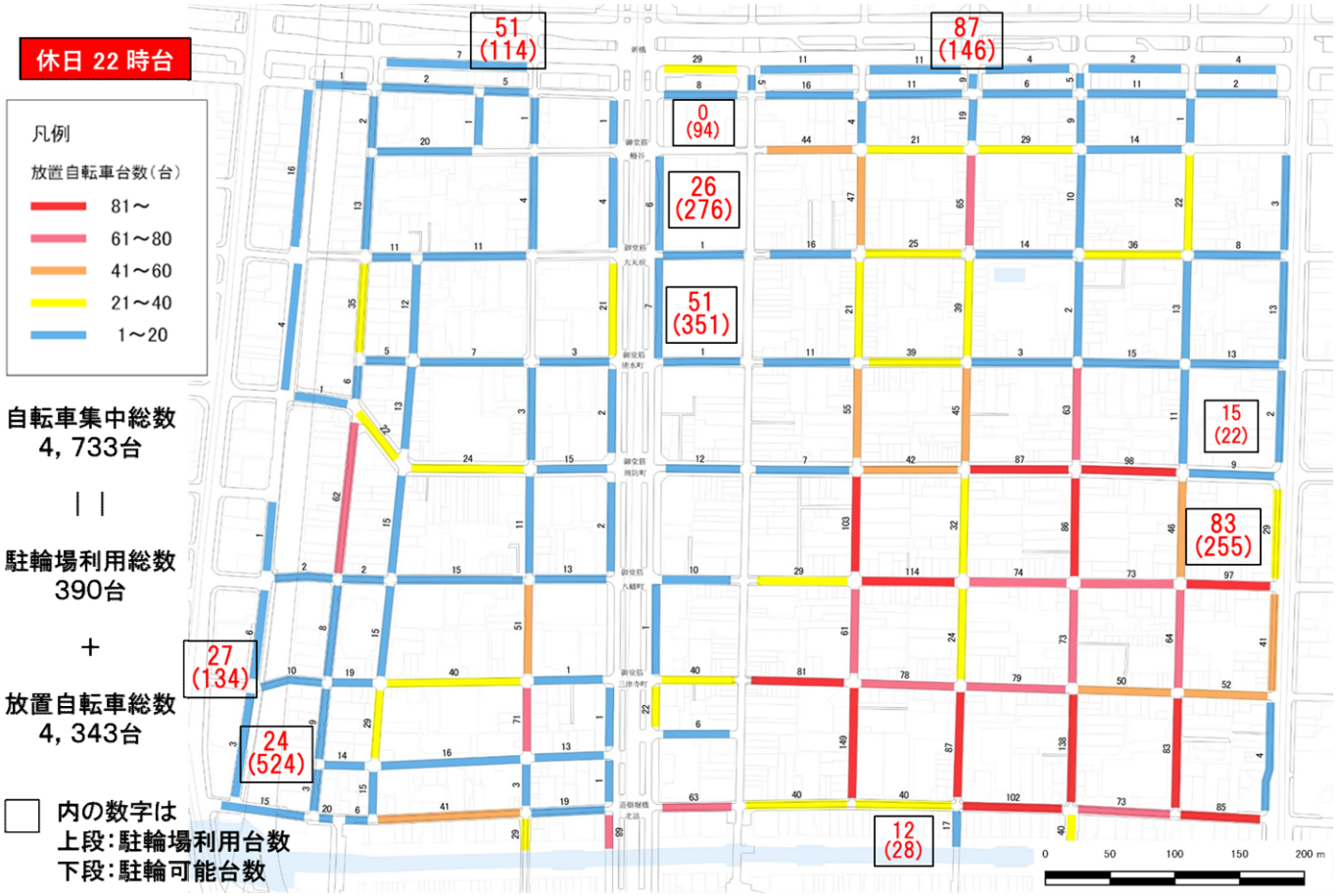
＜その他のコメント＞
・みんな停めているから
・ここに駐輪場があれば停める
・すぐだから
・長時間なら有料でも停める
・コンビニ感覚で停めていた
・ドン・キホーテに寄るだけ
・分からない

調査

⑧ 放置自転車の台数調査（平日：10/28、休日：10/22）

- 御堂筋周辺の放置自転車の状況は、平日よりも休日の方が多く、特に夜間に多く発生している
- 昨年同一時期との比較では、時間帯によりばらつきはあるが、同程度かやや少ない程度である

御堂筋周辺の放置自転車の状況（2022年　休日22時台）



放置自転車総数の昨年同一時期との比較

	平日		休日	
	2021年	**2022年**	2021年	**2022年**
10時台	1,010	**873**	1,076	**1,037**
13時台	1,642	**1,364**	1,958	**1,759**
16時台	2,149	**1,886**	2,431	**2,514**
19時台	3,633	**3,438**	3,817	**3,861**
22時台	4,220	**3,940**	4,608	**4,343**
25時台	3,464	**3,118**	3,343	**3,681**

沿道適正化に向けた道路適正化のイベント実施

官民連携で2期区間完成・社会実験実施にあわせ、合同の適正化活動を実施する

ミナミべっぴんプロジェクトへの参画

日程　：10月22日（土）9：30～　※雨天：29日（土）
場所　：2期整備区間以南及び周辺商店街
主催　：ミナミまち育てネットワーク
参加者：御堂筋沿道関係者（地権者・店舗・テナント等）
　　商店街関係者（東西や広域）
　　ボランティアスタッフ（留学生やNPOなど）
内容　：①ごみ拾い活動（阪大のIoTトング・アプリなどを用いた実証）
　　②自転車適正化活動（エフ札貼り）
　　③2025大阪・関西万博への機運醸成・アピール





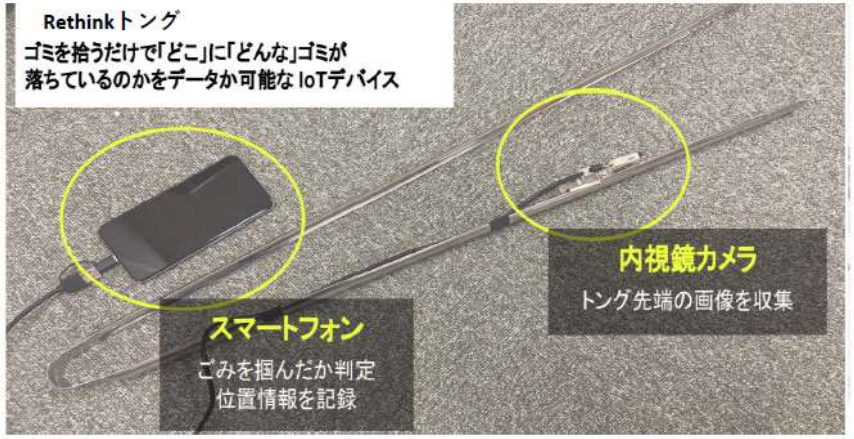
道路協力団体による合同啓発・適正化活動

日程　：10月18日（火）12：30～／31日（月）17：30～
場所　：社会実験実施エリア
主催　：NPO法人御堂筋・長堀21世紀の会
　　一般社団法人ミナミ御堂筋の会
参加者：道路協力団体会員（地権者・店舗・テナント等）
内容　：①ごみ拾い活動
　　②自転車適正化活動（エフ札貼り）



IoTトングの活用、産官学連携による清掃

IoTトングを活用し、ごみの状況を可視化

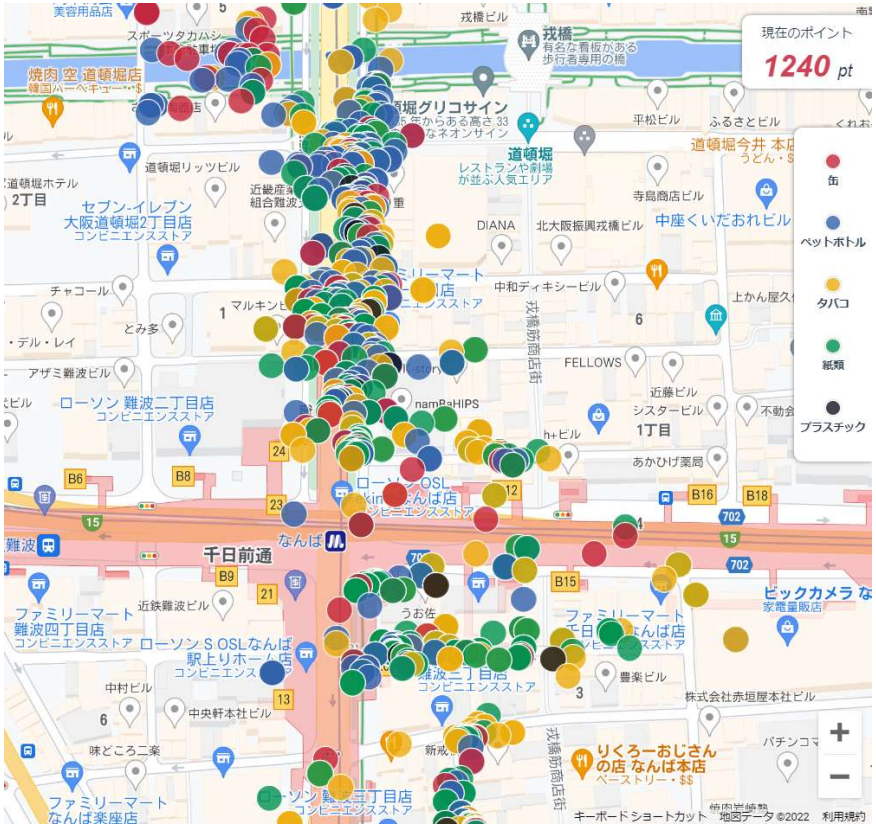




テレビ大阪：https://www.youtube.com/watch?v=rMGZuu_j1Dc



https://www.sankei.com/article/20221024-LD4GVO6PTFOPNPMN3IIS7SDD4Q/





- 今回の調査では、**合計1,240個**のごみが確認された（※清掃時間9:30~11:00）。
- 内訳として、紙類が最も多く**375個**、次にペットボトル**348個**、たばこ**317個**、缶171個、プラスチック29個であった。

資料提供：ＪＴ

ミナミ御堂筋の会（道路協力団体）と認定NPO法人Homedoorによる駐輪啓発事業

ミナミの積年の課題である放置自転車問題の解決と、ホームレスの方々の社会復帰を支援するプロジェクトを実施

広告主

御堂筋という超一等地でのプロモーション（広告効果大！）

放置自転車削減、活動財源の捻出（活動を持続的に！）

就労機会の拡大、雇用の創出

御堂筋での広告協賛

ミナミ御堂筋の会（道路協力団体）

放置自転車啓発活動を支援（費用充当）

Homedoor

ホームレス支援社会貢献・SDGsに対する広告協賛

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

沿道バナー広告を掲出



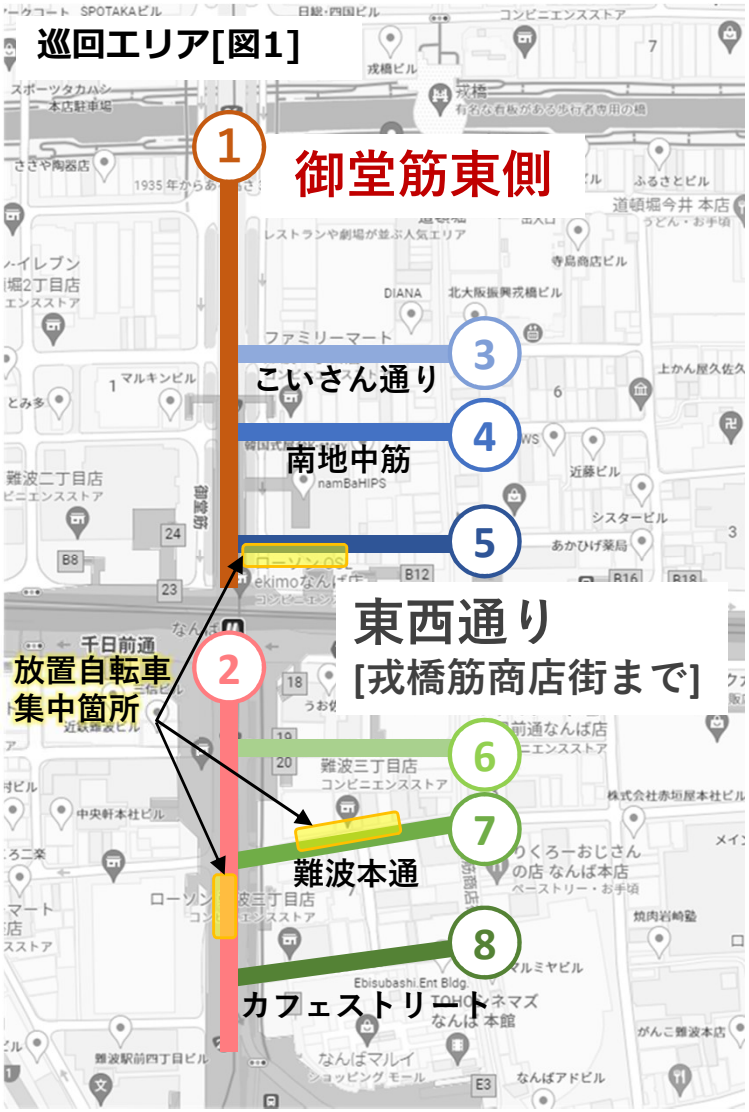
企業スポンサーロゴを入れたバナーの掲出

社会実験期間における自転車の啓発活動を実施



ミナミ御堂筋の会（道路協力団体）と認定NPO法人Homedoorによる駐輪啓発事業

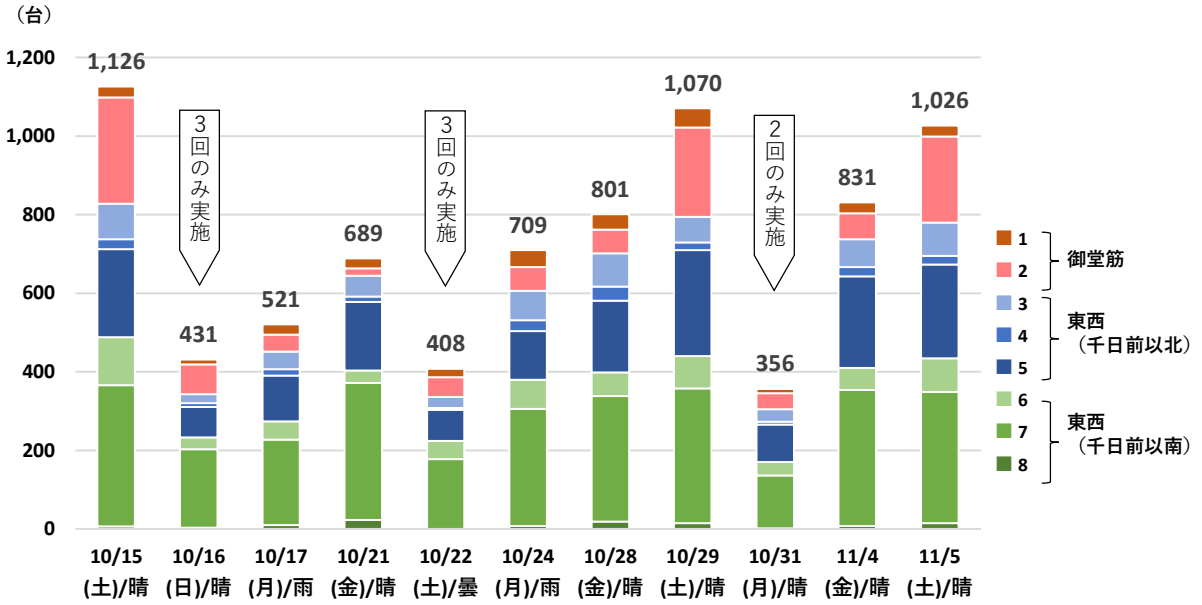
【実施概要】放置自転車問題の解決と、ホームレスの方々の社会復帰を支援するプロジェクトとして、認定NPO法人Homedoorのスタッフが、放置自転車に駐輪禁止のエフ札を貼付するとともに、台数調査を行った。
日　時：10月15日㈯～11月5日㈯における月/金/土曜日と10月16日㈰の、10～13時、または16～20時。
エリア：御堂筋（道頓堀橋南詰～なんば駅前広場）の東側、御堂筋から東の東西通り。詳細は図１参照。



【結果概要】



・11日間で40回、計7,968台の啓発を実施。
（平日：3,907台、休日：4,061台）
・平日と休日の台数を比較すると、放置自転車は休日の方が多い
・放置自転車が集中する場所は限られている（5・7、休日は2も）
・１時間あたりの平均台数を見ると、5・7は19時台が最も多く、2では16～17時台が最も多くなっている。



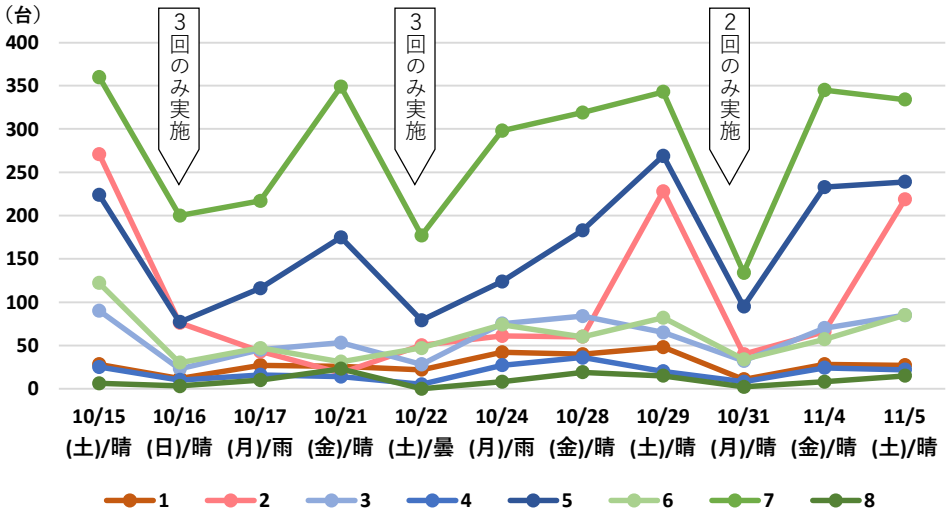
▲放置自転車台数 推移　※台数は、調査時（４回/日）における台数の計。
但し、調査回数は10/16・22は３回/日、10/31は2回/日。

ミナミ御堂筋の会（道路協力団体）と認定NPO法人Homedoorによる駐輪啓発事業

【巡回エリア別 結果概要】

- **御堂筋と比較すると東西通りに違法駐輪が多く、特に5（HIPS南）・7（難波本通）に放置自転車が集中。一方で、8（カフェストリート）の放置自転車が少なく、1時間あたり平均台数を見ても5台を超えることはない。**
- **御堂筋は、千日前以北/南で傾向が異なる。１（御堂筋東側・千日前以北）は平日・休日の差は大きくないが、２（御堂筋東側・千日前以南）は休日に増加。**

▼巡回エリア別 推移



▼１時間あたり平均台数（平日/休日別）

		10時台	11時台	12時台	16時台	17時台	18時台	19時台
御堂筋北 1	平日	-	-	-	6.8	8.4	8.2	8.3
	休日	4.5	6.5	6.0	6.7	7.7	7.7	12.3
御堂筋南 2	平日	-	-	-	7.3	6.2	13.6	24.2
	休日	6.0	25.5	31.5	67.7	68.7	56.7	46.3
こいさん通り 3	平日	-	-	-	13.0	14.6	18.0	19.7
	休日	5.0	9.5	11.0	15.0	16.7	22.0	26.3
南地中筋 4	平日	-	-	-	4.2	4.2	5.6	8.5
	休日	2.0	3.5	2.0	3.7	5.7	6.7	6.3
HIPS南 5	平日	-	-	-	34.7	35.6	42.6	54.5
	休日	14.0	29.5	34.5	53.7	56.7	63.0	70.7
6	平日	-	-	-	10.5	11.0	16.2	17.3
	休日	7.0	15.0	16.5	24.0	28.3	25.3	18.7
難波本通 7	平日	-	-	-	73.5	73.4	79.0	76.5
	休日	50.5	67.5	70.5	86.0	79.3	89.0	91.3
カフェストリート 8	平日	-	-	-	2.8	3.6	3.6	2.8
	休日	0.5	0.5	0.5	2.0	2.3	4.3	3.3

最も台数が多い休日17時台は平日の同じ時間帯の約11倍

休日は10時台から19時台の間に約57台増加

休日朝の時点で50台を超過。休日夜間に台数が増加する

他の通りと比較すると少ない

【啓発メンバーからの声】

- 啓発活動はその場での抑止にはなることもあるが、全体的に自転車台数が減ったと実感はしづらかった。
- 商店街（特にアーケードのあるところ）は、店が閉まっていることにより、自転車が停めやすくなってしまい70台～100台ほどの台数があった。貼り紙対応だけで1時間は毎回かかった。撤去がこないこともあり、放置がかなり目立つ印象。
- タクシー乗り場が新たにできたが、以前と比べて同じ場所の放置自転車台数に変化はない印象。
- こいさん通りは空き缶と吸い殻のごみが多かった。
- ハロウィンの時はごみがかなり多かった。

御堂筋チャレンジ2022における回遊促進の取組

御堂筋チャレンジ2022における回遊促進の取組

ミナミ・ウォーカブル・ストリート

2025大阪・関西万博に向け、まちと、みちと、DXでつなぐ、ミナミエリアの回遊事業

「おもてなしのスポット・コンテンツ+ルートづくり」

(地域・商店街・中央区役所)

①ARスポットで回遊

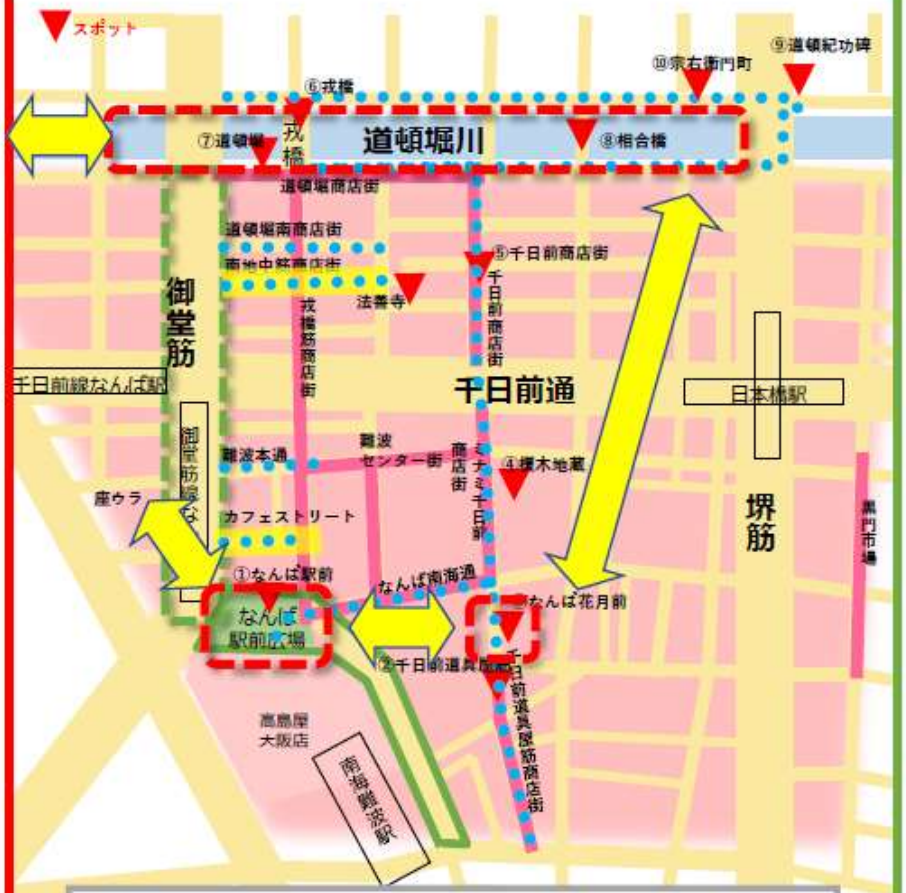
・ミナミ商店街や観光名所でのARスポットの設置（音声ガイドやVR動画で紹介）

・ARスポットをめぐるまちあるき企画



②リバーフェスティバルで回遊

・11/12～13開催の道頓堀リバーフェスティバル2022にあわせて、駅・なんば駅前広場からイベント会場への回遊（とんぼりリバーウォーク、YESシアターほか）



産官学でのデータ検証

・おもてなしコンテンツ・ルートづくりと連動したデータ等による検証

・東西や南北分担解消、放置自転車など、課題解決に向けた実証やデータ取得など

「南北・東西のウォーカブル環境づくり」

(商店街・エリマネ団体ほか)

③南北のウォーカブル環境づくり

・御堂筋の２期整備区間（道頓堀川～千日前通）完成に合わせた、滞在空間の実験（ベンチの設置など）



④東西のウォーカブル環境づくり

・東西方向の商店街と連携した、路地空間のウォーカブルな魅力・空間づくりの実験（オープンカフェなど）



御堂筋チャレンジ2022の取組検証の観点

今年度の検証観点と検証項目

①御堂筋の滞在空間本格整備	**●回遊が広がったか？** ⇒御堂筋の滞在空間整備により、**御堂筋の通行者が増加**したか ⇒御堂筋から**周辺への回遊が広がったか**、どのエリアに広がったか	**○ビデオ計測** ⇒通行量の変化の把握 **○GPSデータ分析** ⇒御堂筋および御堂筋周辺の滞在状況の変化の把握
②東西の取組強化（カフェストリート・南地中筋）	**●東西の動きが創出されたか？** ⇒**東西道路の通行が増加**したか ⇒**滞在や回遊の広がり**があったか ⇒波及効果があったか	**○通行状況調査** ⇒対象東西道路の通行状況の把握 **○GPSデータ分析** ⇒東西道路交通量の変化の把握 **○店舗アンケート調査** ⇒来訪状況、売り上げの変化の把握
③エリア回遊の情報・コンテンツ作りの試行（AR・リバフェス）	**●エリアの動きは広がったか？** ⇒道頓堀リバーフェスティバルで**エリアの来訪者が増加**したか ⇒**エリアをまたいだ**回遊は広がったか	**○エリア全体のGPSデータ分析** ⇒取組実施箇所周辺の回遊・滞留状況、回遊状況の変化の把握 ⇒来訪者の特性分析、エリア回遊促進の課題分析 **○デジタルスタンプラリーログデータ分析** ⇒参加状況・特性の把握
④ネットワークの現状・課題把握	**●エリア全体で動きを作るための、課題・ポテンシャルは？** ⇒全体の利用状況の把握 ⇒エリア全体の**ネットワーク課題の分析**	**○周辺ネットワークの利用状況調査・空間特性分析** ⇒面的な利用状況調査（地下・出入口等含め） ⇒ネットワーク特性、課題分析

結果のまとめ

①御堂筋の滞在空間本格整備　～回遊が広がったか？～

御堂筋上の滞在空間整備



プロトタイプベンチ



モックアップベンチ

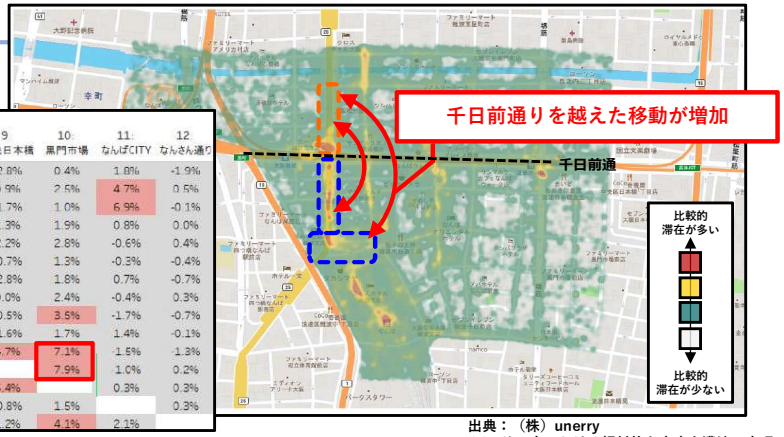


御堂筋の滞在空間整備により通行者が増加したか

・チャレンジ期間中、**御堂筋の通行者数が増加**
・モデル区間を含め、**難波駅から北側の御堂筋沿い**の通行者が増加

▼期間中滞在者分布（携帯GPSデータ）





出典：（株）unerry
※エリア内における相対的な密度を濃淡で表現。

御堂筋から周辺への回遊が広がったか、どのエリアに広がったか

・**難波駅から御堂筋へ**の動きに加え、**御堂筋から戎橋筋商店街や千日前商店街**の回遊が増加
・また、道頓堀と戎橋筋商店街の回遊なども増加

▼エリア内回遊パターンの変化（赤：増、青：減）

比較エリア

基準エリア	1:駅前広場	2:御堂筋南	3:御堂筋北	4-1:御堂筋北西	4-2:御堂筋南西	5-1:戎橋商店街北	5-2:戎橋商店街南	6-1:千日前商店街北	6-2:千日前商店街南	7:道頓堀商店街	8:道具屋筋	9:近鉄日本橋	10:黒門市場	11:なんばCITY	12:なんさん通り
1:駅前広場		0.3%	12.2%	1.3%	-4.2%	-2.1%	-1.1%	-0.2%	-4.5%	1.7%	-2.7%	-2.8%	0.4%	1.8%	-1.9%
2:御堂筋南	7.0%		18.1%	3.6%	-0.7%	-0.1%	3.6%	1.5%	1.6%	4.6%	1.5%	0.9%	2.5%	4.7%	0.5%
3:御堂筋北	6.5%	7.3%		1.9%	-3.4%	-3.2%	0.1%	0.4%	0.7%	2.2%	0.4%	-1.7%	1.0%	6.9%	-0.1%
4-1:御堂筋北西	2.0%	0.4%	11.4%		-2.1%	-0.8%	0.0%	1.5%	0.0%	2.3%	0.6%	1.3%	1.9%	0.8%	0.0%
4-2:御堂筋南西	-0.2%	3.9%	7.7%	6.3%		0.1%	2.8%	2.1%	1.9%	3.4%	1.1%	2.2%	2.8%	-0.6%	0.4%
5-1:戎橋商店街北	-1.1%	-2.4%	8.6%	1.5%	-2.5%		5.6%	2.2%	-2.0%	11.8%	-0.4%	-0.7%	1.3%	-0.3%	-0.4%
5-2:戎橋商店街南	-1.8%	-0.1%	7.5%	0.1%	-3.1%	-0.2%		1.1%	-0.4%	10.5%	-0.3%	-2.8%	1.8%	0.7%	-0.7%
6-1:千日前商店街北	-1.0%	-0.7%	8.9%	2.6%	-1.4%	-2.4%	1.3%		2.1%	6.6%	1.0%	0.0%	2.4%	-0.4%	0.3%
6-2:千日前商店街南	-2.6%	-0.8%	8.9%	1.3%	-1.9%	-1.8%	3.1%	3.5%		4.3%	1.0%	-0.5%	3.5%	-1.7%	-0.7%
7:道頓堀商店街	0.0%	0.0%	7.8%	0.1%	-2.5%	0.1%	5.4%	1.1%	-0.5%		0.5%	-1.6%	1.7%	1.4%	-0.1%
8:道具屋筋	-3.4%	-1.7%	4.7%	0.8%	-1.9%	-1.5%	0.1%	0.9%	-2.1%	2.9%		4.7%	7.1%	1.5%	-1.3%
9:近鉄日本橋	0.8%	0.9%	4.1%	1.8%	0.9%	0.6%	0.1%	1.5%	0.2%	3.0%	4.0%		7.9%	1.0%	0.2%
10:黒門市場	-0.9%	0.7%	3.1%	1.1%	-0.6%	-1.0%	0.1%	0.4%	-0.5%	1.9%	3.3%	5.4%		0.3%	0.3%
11:なんばCITY	5.3%	0.3%	9.8%	1.3%	-2.3%	-0.4%	1.7%	0.5%	-0.7%	2.8%	0.8%	-0.8%	1.5%		0.3%
12:なんさん通り	-2.4%	-0.9%	6.7%	1.3%	-1.6%	-1.0%	1.0%	1.6%	-2.0%	3.2%	1.0%	1.2%	4.1%	2.1%	

検証結果

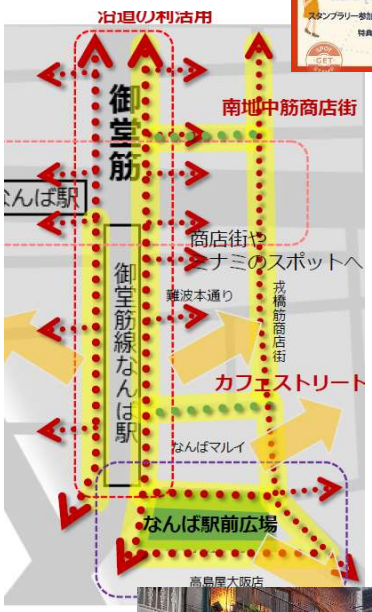
○駅等からの通行を促すとともに、周辺エリアへの回遊を促すことができた
○御堂筋の滞在空間整備や、東西との連携は、エリアの回遊を促す上で効果的
⇒広場や前後区間の整備状況を踏まえつつ、より本格的な活用が必要

結果のまとめ

②東西の取り組み強化による効果　～東西の動きが創出されたか？～

東西道路でのイベント・空間活用



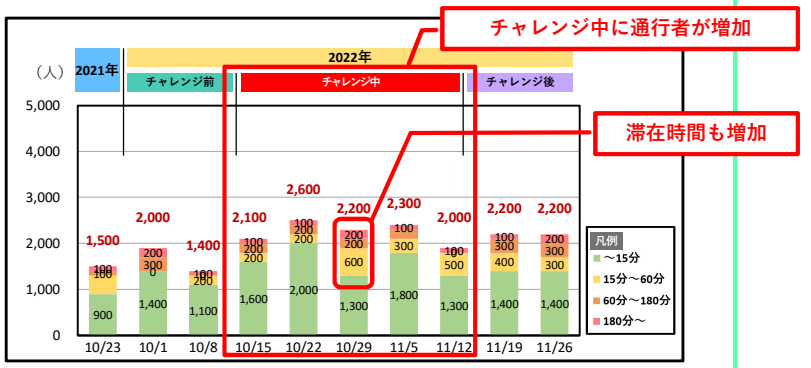




東西道路の通行が増加したか

・南地中筋屋、カフェストリートにおいて、実験前に比べ**<u>通行者数・滞在時間が増加</u>**傾向

▼**南地中筋の来訪者数**（携帯GPSデータ）

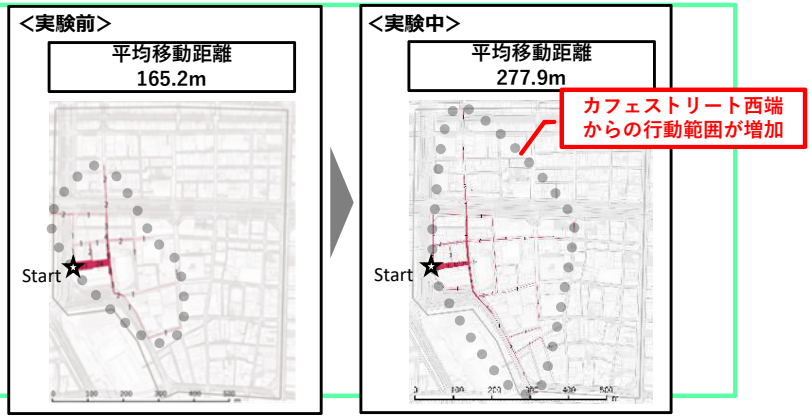


■データ期間（2021/10/23, 2022/10/1~11/26（各土曜日）：10:00~20:00）
■当該エリアに短時間でも存在したスマートフォン数・滞在時間から推計
■データ提供：KDDI・技研商事インターナショナル「KDDI Location Analyzer」
※auスマートフォンユーザーのうち個別同意を得たユーザーを対象に、個人を特定できない処理を行って集計

滞在や回遊の広がりがあったか

・チャレンジ中は、周辺の店や情報を見る行為、会話などが多く実施されている
・これに伴い、来訪者の移動距離の増加もみられた（カフェストリート）

▼**カフェストリート通行者の移動距離**



検証結果

○御堂筋と東西が連携した取り組みにより、東西への流れを促すことができた
○普段とは違う気づきや行動、店舗への立ち寄りも誘発できたと考えられる
⇒来訪者の特性・動きも踏まえた効果的取組の展開、エリアの課題（ゴミ・タバコ等）も含めて対応

結果のまとめ

③エリア回遊施策による効果（リバフェス・デジタルスタンプラリー）　～エリアの動きは広がったか？～

エリア回遊イベントの実施



大阪市中央区商店会連合会「Osaka Maido Guide」と連携
スマホで巡る！ 魅力ぎっしり中央区
デジタルスタンプラリー
第１弾公開記念キャンペーン
キャンペーン期間 11月２日（水）９時～
11月13日（日）18時

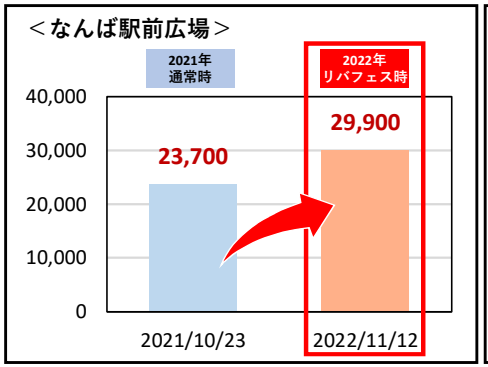


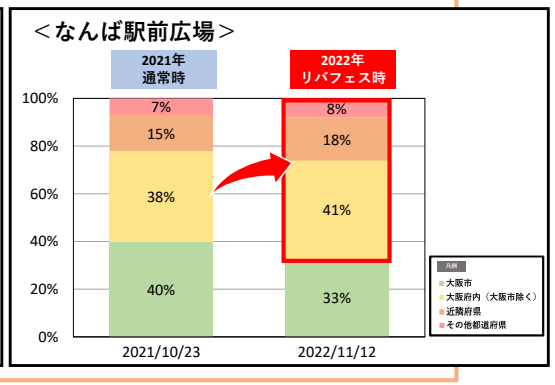
道頓堀リバーフェスティバルで回遊がされたか

- なんば駅前広場を中心に、**イベント実施エリアの来訪者が増加**
- 特に、**遠方からの来訪者**が増加が増加している
- スタンプラリーも周辺各箇所の回遊を促した

■データ期間（2021/10/23, 2022/11/12：10:00~20:00）
■当該エリアに短時間でも存在したスマートフォン数・滞在時間から推計
（イベントに参加していない通過者なども含む）
■データ提供：KDDI・技研商事インターナショナル「KDDI Location Analyzer」
※auスマートフォンユーザーのうち個別同意を得たユーザーを対象に、個人を特定できない処理を行って集計

▼道頓堀リバーフェスティバルでの来訪状況（携帯GPSデータ）



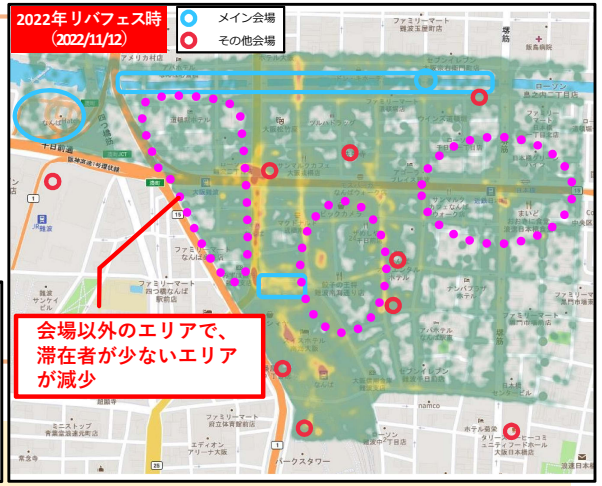


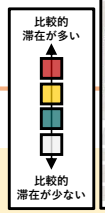
エリアをまたいだ回遊は広がったか

- エリア全体でも滞在者・滞在時間は増加傾向
- イベント実施箇所周辺の、**普段滞在者が少ないエリアへの回遊**を促すことができている

▼周辺エリアの滞在状況の変化（携帯GPSデータ）







出典：（株）unerry
※エリア内における相対的な密度を濃淡で表現

検証結果

○イベントにより、来訪者・滞在時間の拡大を促すことができた
○分散型の実施により、周辺エリアへの拡大、波及効果も発生
⇒地元とも連携し、より効果的・持続的な形での取組展開

結果のまとめ・今後の課題

	2022結果概要
御堂筋の滞在空間本格整備	○駅等からの通行を促すとともに、周辺エリアへの回遊を促すことができた ○御堂筋の滞在空間整備や、東西との連携は、エリアの回遊を促す上で効果的 ⇒広場や前後区間の整備状況を踏まえつつ、より本格的な活用が必要
東西の取組強化（カフェストリート・南地中筋）	○御堂筋と東西が連携した取り組みにより、東西への流れを促すことができた ○普段とは違う気づきや行動、店舗への立ち寄りも誘発できたと考えられる ⇒来訪者の特性・動きも踏まえた効果的取組の展開、エリアの課題（ゴミ・タバコ等）も含めて対応
エリア回遊の情報・コンテンツ作りの試行（リバフェス・デジタルスタンプラリー）	○イベントにより、来訪者・滞在時間の拡大を促すことができた ○分散型の実施により、周辺エリアへの拡大、波及効果も発生 ⇒地元とも連携し、より効果的・持続的な形での取組展開
ネットワークの現状・課題把握	○御堂筋東側よこみちや千日前通り、ウラなんば等での阻害要因への対応が必要 ○特に、御堂筋東側よこみちでは、視線・動線の確保、雰囲気づくり等が必要 ⇒分析結果を踏まえて、戦略的に対策を実施

今後の課題

①滞在空間整備
- ✓ 駅前広場・御堂筋の**効果的空間活用**

②御堂筋よこみち連携
- ✓ よこみちのポテンシャルを活かす連携**取組の強化**
- ✓ **地域の課題と連動**させた展開

③エリア回遊促進
- ✓ 来訪者特性・動き等を踏まえた、**ネットワーク・環境改善**、コンテンツの**効果的発信**

④体制構築
- ✓ 地域・地元との**連携強化、共創**
- ✓ 官民学による検討**体制づくり**

将来イメージ

2022　2023　2024　2025～

広場整備⇒

3期区間整備⇒

2025大阪関西万博

Step1
東西、情報コンテンツ試行
・東西実験
・情報コンテンツ活用

Step2
ネットワークによる回遊促進×環境改善
・魅力づくり、課題対応の推進
・データ共有、検討体制

Step3
官民連携による相乗的回遊まちづくり
・データを活かした地域による取組
・エリアマネジメント

ウォーカブルミナミへ

